

千歳市の教育 2013



姉妹都市アメリカ・アンカレッジ市ミアーズ中学校一行(平成 25 年 6 月)

千歳市教育委員会

目 次

I	千歳市の概況	1
II	教育計画	
1	千歳市第6期総合計画 抜粋	3
2	千歳市生涯学習基本計画	12
3	千歳市学校教育基本計画(平成25年度策定中)	13
III	教育目標	14
IV	教育行財政	
	[1] 教育行政	
1	教育委員会委員	15
2	歴代教育委員会委員	16
3	教育行政の沿革	17
4	市内小中学校の変遷	21
5	教育委員会組織と事務分掌	25
	[2] 教育財政	
1	教育予算	26
2	平成25年度主要事業予算	27
V	学校教育	
	[1] 学校教育の主な施策	28
	[2] 児童生徒数の推移	30
	[3] 学校の概要	
1	小学校	31
2	中学校	48
3	幼稚園	57
4	高等学校	58
5	大学・専修学校	61
	[4] 就学の助成	
1	就学援助	62
2	特別支援教育助成	64
3	奨学金制度	66

4 私立幼稚園助成	67
[5] 学校保健	
1 児童生徒の体位	68
2 災害共済給付	69
[6] 学校給食	70
[7] 生徒指導・青少年指導	72
VI 社会教育	
[1] 生涯学習・社会教育の主な施策	76
[2] 社会教育委員・公民館運営審議会委員	77
[3] 生涯学習・社会教育の対象	77
[4] 社会教育事業	78
[5] 文化財	80
[6] 社会教育施設	
1 千歳市立図書館	89
2 千歳市立千歳公民館	91
3 千歳市民文化センター	93
4 千歳市民ギャラリー	96
5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」	98
6 千歳市青少年会館	99
[7] 公益財団法人千歳青少年教育財団	100
VII 社会体育	
[1] 社会体育事業	104
[2] 学校開放事業	105
[3] 社会体育施設	
1 千歳市温水プール	107
2 千歳市スポーツセンター	108
3 千歳市開基記念総合武道館	109
4 その他の社会体育施設	110
VIII 教育委員会議の開催状況	112

数字で見る千歳市の教育

学校

- ・幼稚園 11園
- ・小学校 17校
- ・中学校 9校
- ・高等学校 3校
- ・大学 1校
- ・専修学校 2校

学校指導体制

- ・学力向上や学校運営に対する学校指導の実施
学校教育主事(次長職) 1名
学校指導主事(第1種非常勤) 2名

グローバルスクール活動事業

- ・各小中学校が地域の自然や人材を活用し、児童生徒が自主的な創意工夫により実践している教育活動に補助金を交付
- ・全小中学校 活動補助金 総額650万円

特別支援教育

- ・センター校…1校 北進小中
- ・鉄北地区…2校 祝梅小、富丘中
- ・鉄南地区…2校 北栄小、千歳中
- ・向陽台地区…1校 向陽台小
- ・肢体不自由児学級…2校 北陽小、千歳中
- ・特別支援教育支援員…学校規模に応じて普通教室に1名から4名の支援員を配置
小学校13校 29名
中学校4校 8名
- ・障がい児教育相談員…1名(第1種非常勤)
- ・児童生徒ヘルパー…13名(第1種非常勤)

小中学校の耐震化

- ・平成25年度で、対象のすべての小中学校の耐震化改修工事を完了します。
- ・屋内運動場などの天井材等の落下防止の対策を行うため、非構造部材の耐震化を実施します。
平成25年度…屋内運動場一斉点検
平成26年度以降…設計、改修工事

外国語活動・学校間交流活動

- ・外国人英語指導助手(ALT) 5名
小学校3名、中学校2名
- ・姉妹都市アラスカ州アンカレジ市との交流
小学校…千歳小学校とサンドレイク小学校
中学校…市内中学生とミアーズ中学校
- ・姉妹都市鹿児島県指宿市との交流
小学校…市内小学生と指宿市小学生
- ・空路交流
小学校…支笏湖小学校と南国市奈路小学校

情報教育・ICT環境

- ・小中学校パソコン教室
全小中学校 701台更新
- ・小中学校教員用パソコン
全小中学校 配備完了
- ・ICT機器等の整備
実物投影機
電子黒板
校内ネットワーク

学校図書館司書

- ・図書館司書小中学校派遣
平成25年度 図書館司書2名を小中学校24校に派遣(1校3週間程度)
- ・千歳市図書ボランティア“はじめての一步”講座
3回開催

学習サポート

- ・千歳科学技術大学学生ボランティア 50名
- ・夏休み学習サポート参加校 13校
北栄小、末広小、緑小、第二小、日の出小、信濃小、高台小、桜木小、向陽台小、泉沢小、青葉中、北斗中、勇舞中

高齢者教育

- ・千歳高星大学…2年制 49名 60歳以上
- ・千歳高星大学院…2年制 48名 60歳以上
- ・千歳市若返り学園…1年制(継続可)定員なし
410名、60歳以上

学校相談体制

- ・スクールカウンセラー(北海道)…5名 11校に派遣 基本週1回4時間
北陽小、日の出小、祝梅小、千歳中、青葉中、向陽台中、富丘中、北斗中、北進中、勇舞中、駒里小中、
- ・スクールカウンセラー(千歳市)…2名 5校に派遣 基本月1回6時間
第二小、信濃小、高台小、泉沢小、桜木小、青少年課(月2回)
- ・心の教室相談員…13名 小学校13校に派遣 基本週2回各5時間
千歳小、北栄小、末広小、緑小、第二小、日の出小、信濃小、高台小
祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小
- ・専門相談員…2名(第1種非常勤 青少年課)
- ・専門指導員…2名(第1種非常勤 青少年課)



千歳市章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概況

1 位置及び地勢

千歳市は、北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、市域は東西に細長く西高東低の地形で、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しています。

市街地の海拔は、15m 前後の低地となっていて、飛行場の付近には太平洋と日本海の分水嶺があり、標高は25m 前後と国内では最も低いものとなっています。

西部は、国立公園支笏湖や世界的にも珍しい三重式活火山を樽前山(1,041m)は、頂上部に溶岩円頂丘があり、北海道の天然記念物に指定されています。ほかにも、恵庭岳(1,320m)、オコタンペ湖、美笛の滝、苔の洞門、支笏湖に面して泉質の異なる3つの温泉など、レクリエーション・リゾートの地としてにぎあいを見せています。

中央部は、ほぼ平坦地で、市街地をはじめ工業団地、飛行場、自衛隊駐屯地・基地、農用地などに利用され、東部は丘陵地帯で農林業に活用されています。

千歳市の位置					
方位	町名	経緯度			
極東	東丘	東経	141°	52′	12″
極西	美笛	東経	141°	10′	17″
極南	美笛	北緯	42°	40′	53″
極北	新川	北緯	42°	57′	12″

千歳市役所の位置

東経：141° 39′ 04″ 北緯：42° 49′ 18″

広がり 東西：57.20 km 南北：30.40 km

面積 594.95 km²

隣接市町村 東：由仁町、安平町 西：伊達市

南：苫小牧市、白老町 北：札幌市、恵庭市、長沼町

2 気候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点に位置しています。夏季の最高気温は30℃程度、年間の平均気温は6℃から8℃であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。年間降水量は900 mmから1,000 mm程度で、降雪量も道内では少ない地域です。風向は一年間を通して南北に一定しているため、国内の他の空港が横風用滑走路を必要とするのに対して、千歳の空港は日本で唯一、平行の滑走路になっています。

3 人口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治13年です。当時は、47世帯209人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5,000人前後の寒村でしたが、昭和14年に海軍航空隊の基地完成により人口が10,000人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和33年7月1日には、北海道第17位の人口となり、道内24番目の「市」になりました。

昭和50年の国勢調査では61,031人にのぼり、JR千歳線鉄道高架が完成した55年国勢調査では66,788人と北海道第12位の都市に躍進しました。平成2年国勢調査では78,946人、7年国勢調査では84,866人、12年国勢調査では88,897人、17年国勢調査では91,437人、22年国勢調査では93,630人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市、音更町に次ぐ道内第3位で、増加率は道内市部第2位となり、増加の一途をたどっています。千歳市の人口は、現在道内第10位となっております。

平成25年4月1日現在の人口・世帯	
男	47,714人
女	46,458人
総人口	94,172人
世帯数	45,368世帯

(住民基本台帳)

4 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年(1658年)に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化2年(1805年)、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまわりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。

(昭和54年7月1日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」を
イメージする市民権肖像
(平成3年7月20日建)

II 教育計画

1 千歳市第6期総合計画 抜粋 《 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち 》

(1) 生涯学習のまちづくり

[基本方向]

- ・市民へ生涯学習活動の必要性を普及・啓発するとともに、市民が抱える地域課題や生活課題に対する学習を支援し、学びの意欲を向上できるように、生涯学習社会を推進する総合的な環境づくりに努めます。
- ・市民・団体・事業者・学校・行政などが連携し、活動に伴う様々な情報を共有し、刺激し合い相互に学びあえるようにネットワークと活動支援の場の整備を図るとともに、市民活動をリードする地域の人材育成と発掘に努めます。
- ・未来を担う子どもたちを守り、育てる地域社会を実現するため、地域の様々な人材を活用しながら子どもたちの安全で健やかな活動場所の充実や拡大を図ります。

[施策]

ア 学びあえる仕組みづくりの推進

<目指すこと>

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりを推進します。

<取組の方向>

- ・地域課題や生活課題に対する自主的な学習活動を支援します。
- ・市民の生涯学習活動が「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる学びの意欲の向上を促進します。
- ・市民・事業者・行政などが連携した学習支援や交流を図るよう、生涯学習の活動を支援します。
- ・市民主体のまちづくりのため、生涯学習の普及・啓発活動を充実します。

イ 市民活動の活性化とネットワーク体制の充実

<目指すこと>

市民の学習活動やまちづくり活動への支援体制を確立させるため、学習機能のネットワーク体制を充実します。

<取組の方向>

- ・市民や団体の交流等を通じて、まちづくり活動を行うセンター機能の強化を図ります。
- ・生涯学習実践活動団体などの地域の学習情報を共有できるネットワーク体制を充実します。
- ・まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援を図ります。

ウ 未来の社会を担う人づくりのための機会の創出

<目指すこと>

子どもたちが健やかに育ち、社会性や協調性を養い、新しい社会に柔軟に対応していく力を身に付けるため、様々な体験や挑戦を行う機会を創出します。

<取組の方向>

- ・子どもたちの活動を大人が応援し、見守る中で子どもたちの自主性や協調性が養われるよう、放課後などにおける様々な体験の機会を拡充します。
- ・市民が自らの資格や技能、また、生涯学習の機会から学んだことを実際に学校活動などの地域活動に生かせる仕組みや体制づくりを強化します。

(2) 幼稚園教育の充実

[基本方向]

- ・就園を希望する幼児がより良い環境で教育を受けられるよう、幼稚園教育の促進を支援します。
- ・幼稚園の整備、教職員の研修等を取り入れ、時代に合った特色ある教育環境の促進を支援します。
- ・早期の問題解決や学校生活への円滑な移行が可能になるよう幼稚園と小学校との連携の支援を推進します。

[施策]

ア 幼稚園教育の充実

<目指すこと>

幼稚園就園を促進するため、時代に合った幼稚園教育の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児の受け入れ体制づくりを支援します。
- ・2歳児の預かり保育（子育て支援の観点から、教育時間終了後などに引き続き園児を預かる教育活動）を支援します。
- ・就園幼児の保護者の負担軽減を図るため、就園に要する費用等の一部を助成します。
- ・幼稚園に対して運営費の一部を助成します。
- ・障がいのある幼児の就園体制づくりを支援します。
- ・時代に合った教職員の育成を支援します。
- ・幼稚園と小学校の連携・交流を支援します。

(3) 小中学校教育の充実

[基本方向]

- ・児童生徒の学習活動の充実を図るため、社会の変化に応じた学習機器や図書を整備します。
- ・確かな学力を養うため、知識や技術といった基礎・基本の定着はもとより、応用力や表現力等の向上を目指します。
- ・幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携し学力の向上や生徒指導等における協力体制を整えます。
- ・児童生徒の良好な教育環境の確保と、効果的な教育活動を展開するため、学校規模の適正化を推進します。
- ・学校・家庭・地域が協働して学校を支える仕組みを整え、地域に根ざした信頼される学校づくりを進めます。
- ・特別支援教育をより一層充実させるため、専門的な教育機関である道立特別支援学校の誘致運動を積極的に展開します。
- ・子どもたちの学校生活に密着した環境教育を行うことができるよう、環境に配慮した施設づくりの調査研究を進めるとともに、施設整備の推進を図ります。
- ・教職員の指導力を発揮させるため、生徒指導や保護者対応などのコミュニケーション能力向上を図り、児童生徒とゆとりを持って向き合う環境を整えます。
- ・不登校等の悩みや問題行動を抱える児童生徒の現状を把握し、学校復帰に向けた適切な指導体制を構築するとともに、学校や関係機関との連携の中で早期解決を図ります。
- ・子どもたちが安全に安心して登下校できるように学校、保護者、町内会、関係機関等が連携して見守る体制の整備を推進します。
- ・市内小中学校の児童生徒に対し、健康に配慮した安心・安全な給食を提供するとともに、給食時間等を利用した食に関する指導を進めます。

[施 策]

ア 快適な学校環境の整備

<目指すこと>

時代に沿った教育環境の充実や学校規模の適正化に努めるとともに、環境問題に対応した教育の場として、学校環境などの整備を推進します。

<取組の方向>

- ・情報教育設備などの学習機器や図書を整備を推進します。
- ・施設損傷の拡大を防ぐため、早期発見による修繕を実施することによる施設の維持に努めます。
- ・学校施設の耐震化を推進するとともに大規模な修繕を計画的に実施し、学校施設の維持に努めます。
- ・児童生徒が学校施設を通じて、環境保護の大切さや環境問題に対応する方法などを学び、環境に配慮した行動を自らの生活の中で実践できるようにします。
- ・児童生徒がより良い教育環境で学校生活を送れるよう、学校規模の適正化等を推進します。

イ 教育活動の充実

<目指すこと>

生きる力の源となる「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスがとれた子どもたちを育む教育活動の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・各学校の特色ある教育活動を推進します。
- ・家庭教育や地域教育と連携した学習環境の創造に努めます。
- ・学力向上に向けた取り組みを進めるとともに、幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携した協力体制を整えます。
- ・国際理解、環境、福祉、情報、職業、食育、防犯など、様々な分野を通して豊かな心と生きる力を育て、未来を担う人材の育成を進めます。
- ・新学習指導要領に基づいた教育課程を円滑に実施します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」や「読書」を奨励し、保護者とともに児童生徒の望ましい生活習慣づくりを進めます。
- ・社会性を身に付け、礼儀正しく他者を思いやる心と健やかな体づくりを進めます。

ウ 安心・安全な教育環境の充実

<目指すこと>

児童生徒が安心して学べる安全な環境教育の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・学校内の感染症予防などの衛生状態を管理し、緊急時には迅速な対策を講じるなど、常に良好な環境を整えます。
- ・経済的な理由で就学が困難な家庭に必要な助成を行います。
- ・遠距離通学を行う児童生徒に対し、スクールバス等を運行します。
- ・児童生徒の健康状態を把握し、発達段階に合わせた適切な教育を実現するため、定期的な健康診断を実施します。
- ・学校・家庭・地域と連携して、通学路における見守りや避難場所等の充実を図るなど、子どもたちを見守る体制を推進します。
- ・安全対策についての意識向上を図るため、情報収集・情報提供を推進します。

エ 特別支援教育の充実

<目指すこと>

障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向け、一人ひとりのニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・障がいのある子どもたちの適切な就学先について、就学指導委員会の判定により、保護者と相談しながら自立と社会参加に向けた適正な就学先を確保します。
- ・特別支援教育体制の充実を図るため、特別支援教育支援員や介助員等の必要な人員の適切な配置に努めます。
- ・千歳市に道立特別支援学校を誘致するため、積極的な要望活動を行います。
- ・千歳市特別支援教育研究会と連携し、千歳市における今後の特別支援教育の在り方を研究します。

オ 学校を支える組織の充実

<目指すこと>

学校が掲げる教育目標の下、教育関係者・地域・家庭がそれぞれの役割を果たし、協働して学校を支える組織づくりに努めます。

<取組の方向>

- ・学校評議員会や保護者アンケート、学校関係者評価などを活用し、信頼される学校づくりを進めます。
- ・信頼される学校の基礎である教職員の資質向上に努めます。
- ・教職員と児童生徒が向き合える環境の改善に努めます。
- ・家庭と地域が一体となって子どもたちへの教育力を高めます。

カ 教育相談・指導の充実

<目指すこと>

社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、教育相談や指導の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・不登校児童生徒の学校復帰を目指し、個々の児童生徒の状態に応じた教育相談や指導体制を充実します。
- ・社会環境の変化に伴う児童生徒や教職員の悩み・不安を解消するため、臨床心理士などによる教育相談窓口の充実を図ります。
- ・児童生徒の身近な相談相手として、地域の人材（元教員や元PTAなど）を心の教室相談員として配置し、心の悩みなどの相談機会を拡充し、問題行動の未然防止を図ります。
- ・児童生徒が安全で快適な学校生活を送るために、学校・教育委員会・家庭・地域・関係機関等が連携・協力して指導の充実を図ります。

キ 学校給食の充実

<目指すこと>

児童生徒の心身の健康の維持・増進を図るため、適切な栄養摂取に配慮した安心・安全な学校給食の充実を図ります。

<取組の方向>

- ・児童生徒の健全な成長にふさわしい献立を作成し、おいしい学校給食の提供に努めます。
- ・安全な学校給食を実施するため、衛生管理体制の強化を図ります。
- ・安定した学校給食を提供できるように給食施設の充実を図ります。

(4) 高等学校教育等の充実

[基本方向]

- ・高等学校等の適正配置や適正な入学定員を確保します。
- ・特色ある学校づくりの促進に努めるよう働きかけます。
- ・未来を担う人材育成のため、生徒・学生がより高度な専門知識を身に付ける機会を広げるよう努めます。

[施 策]

ア 教育機会の拡充

<目指すこと>

高等学校教育等における適正な定員の確保と教育機会の拡充に努めます。

<取組の方向>

- ・人口の推移等を見極めた適正な高等学校等の配置や適正な入学定員の確保に努めます。
- ・経済的な理由で修学が困難な生徒・学生に対して奨学金を給付します。
- ・開校している専門学校の充実を促進し、多くの学生の教育機会の確保に努めます。
- ・生徒、学生や地域のニーズに合った高等学校教育、高等教育の促進を要請します。

(5) 社会教育の充実

[基本方向]

- ・生涯におけるライフスタイルの多様化に伴い、それぞれの個性に応じた学習機会の充実に努めます。また、身近な生活から地球規模の問題に至るまで、様々な学習ニーズに応じた取組を進めます。
- ・様々な学習機会を通じて保護者の教育力の向上を図り、健全な家庭づくりを推進します。
- ・社会教育施設の充実を図るため、市民が安全で快適な利用ができるよう耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修に努めます。

[施 策]

ア 学習機会の充実

<目指すこと>

社会の変化や課題などに対応した様々な学習機会を充実します。

<取組の方向>

- ・地域課題や国際問題など、市民ニーズに応じた学習機会を充実します。
- ・生きがいづくりや地域で活躍する人材づくりのため、高齢者の学習機会を充実します。

イ 家庭教育の充実

<目指すこと>

健全な家庭づくりを推進し、家庭における教育力の向上を図ります。

<取組の方向>

- ・学習機会の提供などにより、家庭の教育力の向上に努めます。
- ・家庭教育に関する男性の意識の向上に努めます。

ウ 社会教育施設の充実

<目指すこと>

市民ニーズに対応した生涯学習の場を形成するとともに、安全で快適に利用ができるよう社会教育施設の機能の充実に努めます。

<取組の方向>

- ・市民ニーズを反映させながら、社会教育施設の機能の充実に努めます。
- ・高齢社会に対応した図書の充実を図るほか、子どもの読書環境を整備するために、絵本やヤングアダルトを対象とした図書の充実に努めるとともに、子育て期に親子で読書に親しむ環境づくりに取り組めます。
- ・市民が安全で快適に利用できるよう施設の耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修を計画的に推進します。

(6) 市民文化の創造

[基本方向]

- ・社会や生活の中で文化の果たす役割が大きいことから、芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めます。
- ・個人や団体の活発な文化活動を推進するため、創作活動や発表の場を提供するとともに、文化活動をリードする人材の育成を進めます。
- ・文化施設の機能を維持する上で重要な機器や設備などの更新・改修を計画的に行い、良好な施設環境で市民が文化に親しめる環境づくりに努めます。

[施 策]

ア 文化鑑賞会の充実

<目指すこと>

豊かな心を持ち、潤いのある生活を送ることができるように、文化鑑賞機会を充実します。

<取組の方向>

- ・市民ニーズを反映した魅力ある事業を開催するなど、多様な文化鑑賞の機会を充実します。
- ・多様な文化鑑賞に関する情報提供を充実します。
- ・文化施設の設備等の更新・改修を計画的に進めるとともに、利便性の向上に取り組みます。

イ 文化活動の推進

<目指すこと>

個人や団体による主体的な文化活動を支援するとともに、活動成果の発表の機会の充実に努めます。

<取組の方向>

- ・芸術文化活動を支える人材づくりに努めるとともに、文化関係団体やサークルなどの育成と活動を支援します。
- ・市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、活動成果を発表する機会の充実に努めます。

(7) 文化財の保護と活用

[基本方向]

- ・埋蔵文化財をはじめとする文化財の適切な保護と保存を図ります。
- ・市民がふるさとに理解と誇りを持ち、まちづくりの源泉となる豊かで多様な文化財や自然にふれあう場の整備・機会の充実に努めます。
- ・伝統文化について、市民の理解が深まる取組を進めます。

[施 策]

ア 文化財の保護と保存

<目指すこと>

地域の貴重な資産である文化財を将来へ確実に守り伝えていくために、保護と保存に努めます。

<取組の方向>

- ・埋蔵文化財の法的協議・調査・研究を行い、保護・保存します。
- ・周知の埋蔵文化財と関係資料の整備を促進します。
- ・郷土の資料である有形・無形の文化財の保護と保存に努めます。

イ 郷土資料の公開と活用

<目指すこと>

千歳市の個性豊かな自然、歴史、文化とのふれあいを通じて、より多くの市民が郷土への意識を高めることを目指し、郷土資料等を収集・調査し、公開と活用を図ります。

<取組の方向>

- ・郷土の自然、歴史、文化にふれ、学ぶことができる場の整備に努めます。
- ・市民が自然や歴史、文化を知ることにより、郷土を考える機会を拡充します。
- ・郷土の自然史資料、歴史・民俗資料、開拓資料等の文化財の収集・調査・管理を行い、公開と活用を図ります。
- ・指定史跡の保存・管理を行い、後世に伝えるとともに公開と活用を図ります。

ウ 伝統文化の保存と継承

<目指すこと>

千歳市の伝統文化である郷土芸能やアイヌ文化が保存され、次の世代に継承されるよう努めます。

<取組の方向>

- ・郷土芸能への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・アイヌ文化への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・伝統文化にふれあい、地域の文化や歴史を理解することができる機会の拡充に努めます。

(8) 生涯スポーツの推進

[基本方向]

- ・スポーツを通じて健康で心豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツの推進を目指し、健康づくりや体力増進に関する市民意識を啓発するとともに、スポーツに親しめる機会や場の充実を図ります。
- ・多様化する市民のスポーツニーズに応じていくため、各種スポーツ活動を支援するとともに、指導体制の充実を図ります。
- ・市民の日常的なスポーツ活動をより一層促進するため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれもがスポーツに親しむことができるよう多機能を重視した施設の改修を行うとともに、市民ニーズに沿った施設運営の弾力的運用を図るなど利便性の向上に努めます。

[施策]

ア 生涯スポーツの啓発と普及

<目指すこと>

地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成を図ります。

<取組の方向>

- ・年齢や体力に応じた市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進します。
- ・スポーツイベント、スポーツ教室などの充実努めます。
- ・ニュースポーツをはじめ、多様化する市民のスポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・確保を図ります。
- ・活力あるライフスタイルを築くため、市民のスポーツ意識の高揚を図ります。

イ スポーツ施設の充実

<目指すこと>

快適で安全に利用できるようスポーツ施設の機能の充実を図るとともに、市民に親しまれる管理運営に努めます。

<取組の方向>

- ・市民ニーズに沿ったスポーツ施設の計画的な改修を実施し、快適な施設の充実に努めます。
- ・市民が安心して利用できるよう施設の安全性の維持と向上に努めます。
- ・利用者の利便性向上を図るため、効率的な施設運営を行います。
- ・市内の小中学校施設を学校教育に配慮しながら、スポーツの普及、幼児・児童の安全な遊び場や地域開放の施設として活用します。

(9) 青少年の健全な育成

[基本方向]

- ・ 青少年団体の育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備に努めます。
- ・ 思いやりの心と考える力を育むため、豊かな自然や文化に関する学習機会を通じた青少年健全育成活動を推進します。
- ・ 関係機関、団体等と連携して、青少年の非行防止活動を強化するとともに、青少年を取り巻く有害環境の浄化を推進します。

[施 策]

ア 青少年健全育成活動の推進

<目指すこと>

青少年が心身ともに健やかに成長していくことを目指し、思いやりの心とチャレンジ精神を身に付けるように、青少年健全育成活動を推進します。

<取組の方向>

- ・ 家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じて健全育成活動を推進します。
- ・ 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図ります。
- ・ 「千歳サケのふるさと館」を設置運営する財団法人千歳青少年教育財団などの青少年関係団体の育成と活動を支援し、青少年の活動の場の充実に努めます。

イ 青少年の非行防止

<目指すこと>

青少年を有害環境から守り、問題行動を未然に防止し、非行の減少を図ります。

<取組の方向>

- ・ 関係機関との連携を強化し、巡回指導の充実を図ります。
- ・ 保護者、学校、事業者、地域との連携を強化し、有害環境の浄化を推進します。
- ・ 有害環境を有する恐れのある事業所の把握と指導を強化します。
- ・ 非行防止と有害環境に対する意識向上のための情報提供を推進します。

(10) 多様な地域間交流の推進

[基本方向]

- ・ 国際化に対応した生活環境の整備・充実に取り組むとともに、市民や市民活動団体、事業者、行政などがそれぞれの役割を分担し、連携を図りながら様々な分野における国際交流機会の拡充に努めます。
- ・ 国際交流に対する市民の意識を醸成しながら、国際社会で積極的に行動する人材や地域において国際交流を推進する人材の育成を進めます。また、市民参加型の国際交流活動や国際協力活動を支援し、市民や市民活動団体、事業者が主体となった国際交流活動の拡大に努めます。
- ・ 国際性豊かな人材の育成、国際交流都市の実現のため、J8アフターサミットの実施やまちづくりに寄与する国際会議の開催など幅広い国際交流を推進します。
- ・ 都市間の友好親善や相互理解を深めるとともに、多くの市民が参加し、豊かな心を持った人材の育成を図るため、姉妹都市との交流を推進します。

[施 策]

ア 人と地域が育む国際交流の推進

<目指すこと>

国際化に対応する情報の提供や交流事業を進めるとともに、国際理解の促進や国際性豊かな人材の育成を図るよう幅広い国際交流を推進します。

<取組の方向>

- ・外国人の行動または生活の利便性向上を目指すため、外国語表記（併記）を推進します。
- ・通訳やホストファミリー（留学生を受け入れ世話をする家庭）など市民ボランティアの育成を図り、各種訪問団などの受け入れ体制の整備に努めます。
- ・国際交流活動を行う市民や市民活動団体の活動を支援し、国際感覚を持った人材の育成を図ります。
- ・市内の様々な国際交流事業の情報を一元化し、市民に国際交流の機会を提供します。
- ・千歳のまちづくりに寄与する国際会議について、情報収集に努め、開催の可能性を検討します。
- ・J8アフターサミットの実施や通訳ボランティアなどとの市民ネットワークづくりを進めます。

2 千歳市生涯学習基本計画(ちとせ学び愛プラン)

基本目標 『 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち 』

推進方向1 「いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進」

【取組方策】

- (1) 市民の自主的な学習活動の支援
- (2) 関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援
- (3) 生涯学習活動の普及・啓発の充実
- (4) まちづくり活動を行うセンター機能の充実
- (5) まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援
- (6) 地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実

推進方向2 「社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実」

【取組方策】

- (1) 市民ニーズに応じた学習機会の充実
- (2) 高齢者の学習機会の充実
- (3) 子育てに関する学習機会の充実

推進方向3 「市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実」

【取組方策】

- (1) 市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実
- (2) 安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新

推進方向4 「多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援」

【取組方策】

- (1) 文化鑑賞機会の充実と活動の支援
- (2) 文化鑑賞に関する情報提供の充実
- (3) 読書環境の充実
- (4) 文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援
- (5) 活動成果を発表する機会の充実

推進方向5 「文化財の保護と継承」

【取組方策】

- (1) 文化財の保護・保存と活用
- (2) 郷土資料等の収集・調査と公開
- (3) 伝統文化の保存と継承

推進方向6「地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成」

【取組方策】

- (1)生涯にわたるスポーツ活動の促進
- (2)スポーツイベント、スポーツ教室などの充実
- (3)スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成
- (4)市民のスポーツ意識の啓発
- (5)小中学校施設の地域開放

推進方向7「思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進」

【取組方策】

- (1)家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じた健全育成活動の推進
- (2)関係団体の育成と活動の支援
- (3)自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実
- (4)青少年の非行防止

3 千歳市学校教育基本計画(平成 25 年度策定中)

(1) 計画策定の趣旨

千歳市はこれまで、まちづくり全体の指針である「千歳市第6期総合計画」に基づき、教育行政執行方針の中で、重点目標及び主な施策を掲げて、教育の推進を図るため諸施策を実施してきましたが、平成18年12月に教育基本法が改正され、新しい時代の教育理念が示されるとともに、国は、平成20年度に「教育振興基本計画」を策定し、各地方公共団体においても教育の進行のための施策に関する基本的な計画の策定に努めることが規定されました。

このため、学校教育の充実など、今後めざすべき教育の基本的な方向や取組等を明らかにした「千歳市学校教育基本計画」を策定するものであります。

(2) 計画の性格

この計画は、「千歳市第6期総合計画」の個別計画として位置付けるとともに、教育基本法第17条第2項に規定される、教育振興のための施策に関する基本的な計画としての性格を併せ持つものです。

(3) 計画の構成と期間

この計画は、各施策項目に対し「現状と課題」、「施策の概要」、「主な取組」で構成され、計画期間は、「千歳市第6期総合計画」の最終年度に合わせ、平成26年度～平成32年度の7年間とします。

Ⅲ 教育目標

平成 25 年度教育推進の重点目標

社会で生きる学力、健全な心と体の育成と、学びの循環による生涯学習社会の実現

主な施策

1 学校教育の主な施策

- (1) 生きる力を育む学校教育の充実
- (2) 特色ある教育の推進
- (3) 安心・安全な教育環境の充実
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 教職員の資質向上と学校環境の整備

2 社会教育の主な施策

- (1) いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進
- (2) 社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実
- (3) 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実
- (4) 多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援
- (5) 文化財の保護と継承
- (6) 地域における各種スポーツ活動の活性化と団体の育成
- (7) 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年健全育成活動の推進

IV 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員会委員

委員長 山田 律子 平成17年10月1日就任

委員長職務代理者 佐々木 義朗 平成18年10月1日就任

委員 阿部 弓枝 平成19年10月1日就任

委員 明石 光正 平成20年10月1日就任

教育長 宮崎 肇 平成24年10月1日就任



佐々木委員 阿部委員 明石委員
宮崎教育長 山田委員長

2 歴代教育委員会委員

委員長(任命年月日)	委員(任命年月日)	委員(任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.7 河野 有三 46.10.1 島倉 充平 60.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 山田 律子 17.10.1 (在職中)	内村 ナツ 31.10.1 32.10.1 36.10.1 40.9.28 鎌倉 末吉 43.10.1 44.10.1 (46.4.7まで) 河野 有三 46.4.30 48.10.1 52.10.1 56.10.1 島倉 充平 60.10.1 元.10.1 5.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 13.10.1 山田 律子 17.10.1 21.10.1 (在職中)	信田 信太郎 31.10.1 33.10.1 (34.5.13まで) 34.5.25 37.10.1 阿部 忠彦 41.10.1 高塚 興正 45.10.1 49.10.1 53.11.1 57.10.1 61.10.1 佐藤 嘉彦 2.10.1 (6.8.21まで) 三ツ野 仁 7.10.1 10.10.1 14.10.1 佐々木 義朗 18.10.1 22.10.1 (在職中)
委員(任命年月日)	委員(任命年月日)	教育長(任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.1 34.10.1 38.10.2 42.10.1 矢野 和子 46.10.1 50.10.1 54.10.1 寺山 恵美子 58.10.1 62.10.1 3.10.1 橋爪 光子 7.10.1 11.10.1 15.10.1 阿部 弓枝 19.10.1 23.10.1 (在職中)	高橋 三次郎 31.10.1 (34.5.13まで) 若木 キサ 34.7.3 35.10.1 (36.3まで) 鈴木 清子 36.3.31 39.10.1 藤本 敬一 43.10.1 47.10.1 51.10.1 信田 茂 55.10.1 59.10.1 63.10.1 今 清 4.10.1 8.10.1 竹嶋 勝利 12.10.1 16.10.1 明石 光正 20.10.1 24.10.1 (在職中)	菅原 恵一 31.10.1 (34.3.13まで) 半田 景明 34.6.16 35.10.1 39.10.1 43.10.1 47.10.1 (50.3.20まで) 宮澤 一成 50.6.1 51.10.1 55.10.1 59.10.1 佐藤 利雄 63.10.1 4.10.1 工藤 文夫 8.10.1 12.10.1 (13.9.30まで) 小林 義知 13.10.1 16.10.1 20.10.1 宮崎 肇 24.10.1 (在職中)

3 教育行政の沿革

(1) 沿革

年 月	主な出来事
明治12 (1879) 年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める (現千歳小学校)
" 13 (1880) 年3月	千歳村に戸長を置き事務を行う (戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
" 22 (1889) 年4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
" 28 (1895) 年3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる (現在地に校舎新築)
" 32 (1899) 年9月	長都に私立教育所設置 (現長都小学校)
" 33 (1900) 年6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置 (現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置 (泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置 (幌加小学校の前身)
" 34 (1901) 年6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
" 35 (1902) 年4月	近唐教育所設置 (協和小学校の前身)
" 39 (1906) 年9月	木臼簡易教育所設置 (中央小学校の前身)
大正元 (1911) 年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
" 4 (1915) 年4月	烏柵舞特別教授所設置 (水明小学校の前身)
" 5 (1916) 年10月	二級町村制施行 (烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
" 6 (1917) 年4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
" 7 (1918) 年6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校 (東丘小学校の前身)
" 9 (1920) 年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
" 12 (1923) 年4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置 (現千歳第二小学校)
" 13 (1924) 年4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
" 15 (1926) 年4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和6 (1931) 年4月	釜加特別教授場設置
" 7 (1932) 年	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
" 11 (1936) 年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
" 12 (1937) 年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所設置
" 14 (1939) 年4月	千歳鉦山特別教授所が千歳鉦山尋常高等小学校となる
" 15 (1940) 年6月	一級町村制施行
" 16 (1941) 年4月	長都尋常小学校に高等科併置
" 17 (1942) 年5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
" 21 (1946) 年4月	町制施行 (人口 13,994 人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
" 22 (1947) 年4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正 (学校六・三制発足) により校名変更
6月	長都、千歳鉦山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置 (長都、千歳鉦山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置 (中央中学校の前身)
" 23 (1948) 年6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校 (小学校に併置、東千歳中学校の前身)
" 24 (1949) 年1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
4月	千歳中学校烏柵舞分校設置 (小学校に併置、水明中学校の前身)
" 25 (1950) 年3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
12月	千歳中学校鉦山分校が千歳鉦山中学校となる
" 26 (1951) 年3月	千歳中学校阿宇砂里分校設置 (小学校に併置、現駒里中学校)
4月	千歳中学校が東雲町4丁目から栄町4丁目に移転
" 27 (1952) 年4月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる
10月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
11月	幌加中学校が東千歳中学校となる
" 28 (1953) 年5月	千歳町教育委員会委員選挙執行
" 29 (1954) 年4月	千歳町教育委員会発足
	北栄小学校開校
	千歳町立千歳高等学校道立移管
	千歳公民館開館

年 月	主 な 出 来 事
昭和29 (1954) 年5月	千歳町体育協会発足
" 30 (1955) 年4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
" 31 (1956) 年1月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校
" 32 (1957) 年4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
" 33 (1958) 年7月	市制施行(人口 48,443 人)
" 34 (1959) 年4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャン重要文化財の指定を受ける
" 35 (1960) 年5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進小学校に分離独立)
" 37 (1962) 年4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
" 39 (1964) 年3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合
4月	水明中学校藤の沢分校を本校に統合
9月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
10月	ウサクマイ遺跡発掘調査
" 40 (1965) 年10月	学校給食センター開設
" 41 (1966) 年3月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
4月	水明中学校を千歳中学校に統合
" 42 (1967) 年1月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
3月	日の出小学校開校
" 43 (1968) 年3月	藤の沢小学校廃校
4月	青少年健全育成都市宣言
7月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
12月	信濃小学校開校
" 44 (1969) 年8月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
" 45 (1970) 年4月	千歳市開基90周年記念式典
6月	青少年会館開館
12月	支笏湖青少年研修センター開設
" 46 (1971) 年1月	高台小学校開校
4月	スポーツ都市宣言
9月	東千歳地区スクールバス運行開始
" 47 (1972) 年1月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
3月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
9月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
" 48 (1973) 年1月	真町中学校開校
4月	中央中学校を真町中学校に統合
5月	北進小学校に言語治療教室開設
" 49 (1974) 年1月	青葉中学校が根志越(現在地、豊里)に移転
4月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
5月	北栄小学校に情緒障害児学級開設
" 50 (1975) 年3月	末広小学校が富丘(現在地)に移転
4月	学校給食センターが上長都に移転
10月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
11月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
" 51 (1976) 年4月	人口6万人突破(人口60,200人)
6月	富丘中学校開校
8月	支笏湖自然の村開村
12月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
" 52 (1977) 年4月	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
" 53 (1978) 年3月	千歳市青少年指標制定
4月	千歳中学校に言語治療教室開設
6月	祝梅小学校開校
10月	教育委員会事務局市庁舎に移転
12月	市立図書館開館
" 54 (1979) 年4月	「美々貝塚」「馬通看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定
" 55 (1980) 年3月	千歳鉾山小学校、千歳鉾山中学校開校
4月	蘭越小学校を緑小学校に統合
6月	桜木小学校開校
10月	北進中学校に情緒障害児学級開設
12月	総合スポーツセンター完成
" 56 (1981) 年10月	千歳小学校開校百年記念式典
" 57 (1982) 年12月	「動物形土製品」千歳市文化財指定
" 58 (1983) 年12月	泉沢市民スキー場開設

年 月	主 な 出 来 事
昭和54 (1979) 年5月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
6月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
7月	千歳市民憲章制定
8月	千歳市開基百年記念式典
10月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
	「泉郷獅子舞」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
〃 55 (1980) 年7月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
〃 57 (1982) 年2月	(財)千歳青少年教育財団設立
4月	向陽台小学校開校
〃 58 (1983) 年2月	人口7万人突破（人口70,051人）
3月	北進小学校に情緒障害児学級開設
11月	北海道都市教育長会開催
〃 59 (1984) 年4月	市民文化センター開館
	北斗中学校開校
〃 60 (1985) 年8月	第16回全国中学校卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
〃 61 (1986) 年4月	千歳小学校に肢体不自由児学級開設
7月	青空運動公園（アスファルトリンク）完成
〃 62 (1987) 年4月	向陽台中学校開校
5月	千歳市民球場完成
〃 63 (1988) 年2月	市立図書館新築移転（青葉公園内）
4月	通学区域変更（末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ）
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成元年(1989) 年4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
	千歳中学校に肢体不自由児学級開設
9月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
10月	千歳市開基110周年記念式典
11月	青空公園ふれあいセンター完成
〃 2年 (1990) 年8月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
12月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
〃 3年 (1991) 年9月	障害児教育相談員設置
10月	人口8万人突破
〃 4年 (1992) 年9月	学校週5日制開始
〃 5年 (1993) 年3月	(財)千歳市体育協会設立
	開基記念総合武道館完成
	中央小学校を千歳小学校に統合
5月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
8月	学校給食センターが祝梅に移転
〃 6年 (1994) 年4月	北陽小学校開校（千歳小の肢体不自由児学級を北陽小に移設）
8月	第24回全国中学校剣道大会開催
9月	千歳サケのふるさと館開館
〃 7年 (1995) 年4月	市民ギャラリー開館
5月	駒里水泳プール完成
8月	第39回北海道学校給食研究大会開催
〃 8年 (1996) 年5月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
9月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会（東北・北海道合同）石狩大会開催
〃 9年 (1997) 年4月	泉沢小学校開校
6月	適応指導教室「おあしす」開設
〃 10年 (1998) 年4月	千歳高校全日制普通科が1学級増
	向陽台小学校に情緒・知的障害児学級開設
7月	千歳市温水プール完成
10月	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
	第38回北海道社会教育研究大会開催
〃 11年 (1999) 年1月	北陽小学校校舎増築
3月	千歳第二小学校校舎増築
4月	千歳高校に学科を新設（国際教養科・国際流通科）
11月	千歳高校創立50周年記念事業実施
〃 12年 (2000) 年9月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
〃 13年 (2001) 年4月	学校評議員設置
11月	長都小学校開校100周年記念式典
〃 14年 (2002) 年2月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
4月	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
7月	人口9万人突破
〃 15年 (2003) 年3月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館

年 月	主 な 出 来 事
平成15年(2003)年4月	北栄小学校に知的障害学級、向陽台小学校に難聴学級、千歳中学校に情緒・知的障害学級開設
6月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
〃16年(2004)年4月	向陽台小学校に肢体不自由学級開設
〃17年(2005)年3月	長都小中学校閉校
	支笏湖青少年研修センター閉所
6月	「北海道美々8遺跡出土品(1,164点)」国の重要文化財に指定
10月	千歳市の教育を考える市民会議設置
〃18年(2006)年4月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ
	千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始
	市民文化センターがリニューアルオープン
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクル」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
〃19年(2007)年2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築
	青葉中学校開校50周年記念式典
12月	緑小学校開校50周年記念式典
	桜木小学校開校30周年記念式典
〃20年(2008)年3月	北陽小学校校舎増築
4月	学校二学期制開始
5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖の開催記念事業として「ちとせっこ未来フォーラム」を開催
〃21年(2009)年5月	サケのふるさと館開館15周年記念事業
6月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
〃22年(2010)年4月	埋蔵文化財センターが旧長都小中学校に移転オープン
〃23年(2011)年1月	姉妹都市であるアンカレジ市ミアーズ中学校訪問事業を実施
〃24年(2012)年3月	真町中学校閉校
4月	勇舞中学校開校
	北陽小学校校舎増築
〃25年(2013)年4月	北海道千歳高等支援学校開校
	祝梅小学校に情緒・知的障害学級、富丘中学校に情緒学級開設

(2) 教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与三郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会が開催され、委員長に今与三郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与三郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立(同年10月1日施行)に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原恵一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

4 市内小中学校の変遷

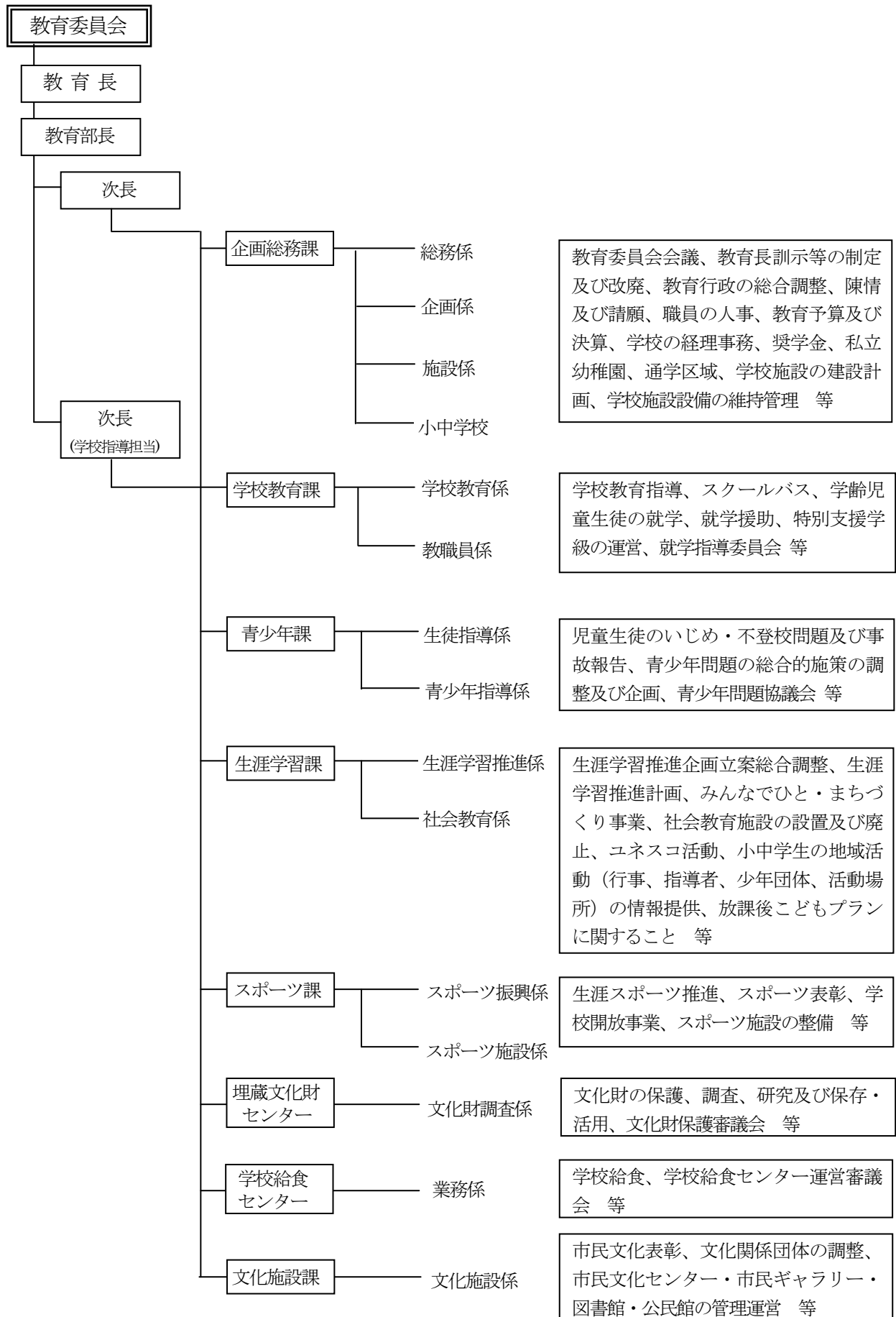
	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治13.4.) 千歳教育所 ↓ (明治22.) 千歳簡易小学校 ↓ (明治28.) 千歳尋常小学校	(明治31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治39.9) 阿宇砂里簡易教育所	(明治32.9) 私立教育所 ↓ (明治33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治34.6.3) 長都尋常小学校	(明治33.6.8) 嶮淵簡易教育所	(明治33.9.24) 幌加簡易教育所
	(大正7.12) 高等科設置	(大正6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校	15.5.1 場	(大正6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置	(大正5.10.25) 幌加尋常小学校
昭和	(昭和16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳小学校	(昭和16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和27.4.1) 駒里小学校	(昭和7)統合 ↓ (昭和15.6) 高等科設置 ↓ (昭和16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和22.4) 長都小学校	(昭和16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和43.3.31) 第二小学校～統合	(昭和16.4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校
	(平成5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成17.3.31) 北陽小学校～統合		
平成					

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉱山小学校
明治		(明治26年ころ) 説教所で寺子屋 ↓				
	(明治34.12.1) 近唐教育所 ↓	(明治35.4) 木臼簡易教育所 ↓				
大正	(大正6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正元.10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置 ↓	(大正7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正9.12.13) 千歳小学校根志越分 教場 ↓ (大正13) 根志越特別教授所 ↓	
			(昭和6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和11.11.30) 千歳鉱山特別分教場設 置 ↓ (昭和16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和26.4) 水明小学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.3.31) 支笏湖小学校へ統合			
昭和	(昭和16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和22.4) 近唐小学校 ↓	(昭和16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和22.4) 木臼小学校 ↓		(昭和16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 新嶮淵小学校 ↓	(昭和21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳第二小学校 ↓	(昭和11.11.30) 烏柵舞尋常高等小千 歳鉱山特別教授所 ↓ (昭和12.10.1) 千歳鉱山尋常高等小 学校 ↓ (昭和16.4) 千歳鉱山国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳鉱山小学校 ↓
	(昭和27.4.1) 協和小学校 ↓	(昭和26.4.1) 中央小学校 ↓		(昭和27.4.1) 東丘小学校 ↓		
平成	(昭和46.1.1) 東小学校 ↓			(昭和46.1.1) 東小学校 ↓	(昭和43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓	(昭和53.3.31) 廃校 ↓
		(平成5.3.31) 千歳小学校へ統合			現在に至る	

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和 21. 11. 20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22. 4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 緑小学校へ統合	(昭和 22. 12. 25) 烏冊舞小学校支笏湖 湖畔分教場 ↓ (昭和 24. 1. 29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39. 4. 1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23. 6) 開校 ↓ (昭和 43. 7. 18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28. 5. 25) 開校 現在に至る	(昭和 31. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 32. 4. 1) 開校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和 34. 4. 1) 水明小中学校藤の沢 分校 ↓ (昭和 39. 3. 31) 水明中藤の沢分校水 明中学校へ統合 ↓ (昭和 39. 4. 1) 千歳小学校藤の沢分 校 ↓ (昭和 41. 4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42. 3. 31) 廃校	(昭和 35. 5. 5) 千歳小学校特殊学 級 ↓ (昭和 37. 4. 1) 千歳中学校特殊学 級併設 ↓ (昭和 40. 10. 1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和 46. 4. 1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41. 12. 1) 開校 現在に至る	(昭和 43. 4. 1) 開校 ↓ (昭和 43. 7. 18) 千歳第三小学校を統 合 現在に至る	(昭和 45. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 46. 1. 1) 幌加、協和、東丘 の3校を統合して 開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和 51. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 53. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 57. 4. 1) 開校 現在に至る	(平成 6. 4. 1) 開校 ↓ (平成 17. 4. 1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校長都分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 30. 5. 23) 長都中学校として 独立 ↓ (昭和 52. 4. 1) 長都小中学校 ↓ (平成 17. 3. 31) 富丘中学校へ統合
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉱山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和 22. 6. 4) 開校 ↓ (昭和 41. 4. 1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43. 4. 1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成 24. 4. 1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和 22. 6. 5) 幌加中学校として 小学校に併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32. 8. 29) 開校 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校鉱山分校 として小学校に併置 ↓ (昭和 25. 4. 1) 千歳鉱山中学校 ↓ (昭和 53. 3. 31) 廃校	(昭和 25. 12) 千歳中学校阿字砂 里分校として小学 校に併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 同 駒里分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 駒里中学校として 小学校に併置 現在に至る	(昭和 22. 4. 1) 千歳中学校嶮淵分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 27. 4. 1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43. 3. 31) 千歳中学校へ統合

	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和 22. 5. 13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置 ↓ (昭和 26. 4. 1) 同 中央分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 中央中学校 ↓ (昭和 47. 3. 31) 真町中学校へ統合	(昭和 24. 4. 8) 千歳中学校烏柵舞分校として小学校に併置 ↓ (昭和 26. 4. 1) 同 水明分校 ↓ (昭和 31. 1. 1) 水明中学校 ↓ (昭和 34. 2. 1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39. 4. 1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和 41. 3. 31) 千歳中学校へ統合	(昭和 47. 1. 1) 開校 ↓ (昭和 47. 4. 1) 中央中学校を統合 ↓ (平成 24. 3. 31) 千歳中学校へ統合	(昭和 50. 4. 1) 開校 現在に至る ↓ (平成 17. 4. 1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和 59. 4. 1) 開校 現在に至る	(昭和 62. 4. 1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成 24. 4. 1) 開校 現在に至る					

5 教育委員会組織と事務分掌



[2]教育財政

1 教育予算

(1) 教育費の推移(人件費を除く)

(単位：千円)

年度 区分	当 初 予 算 額				
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
教育費	2,752,874	2,758,559	3,895,625	2,801,820	2,801,820
一般会計	43,180,159	43,286,640	42,315,770	42,127,489	42,127,489
構成比	6.4%	6.4%	9.2%	6.7%	6.7%

(2)平成 25 年度当初予算構成

一般会計 (単位：千円)

区 分	金 額	比 率 %
議 会 費	249,225	0.6
総 務 費	3,262,065	7.6
民 生 費	10,720,169	25.1
衛 生 費	1,608,118	3.8
労 働 費	49,130	0.1
農 林 水 産 業 費	412,793	1.0
商 工 費	1,045,745	2.4
土 木 費	2,301,102	5.4
消 防 費	374,656	0.9
教 育 費	3,549,351	8.3
公 債 費	4,070,771	9.5
諸 支 出 金	9,057,872	21.2
職 員 費	5,971,212	14.0
予 備 費	20,000	0.1
総 額	42,692,209	100.0



教育費 (単位：千円)

区 分	金 額	比 率 %
教育総務費	227,864	6.4
小学校費	853,562	24.0
中学校費	407,530	11.5
幼稚園費	213,002	6.0
社会教育費	531,260	15.0
保健体育費	1,316,133	37.1
総 額	3,549,351	100.0



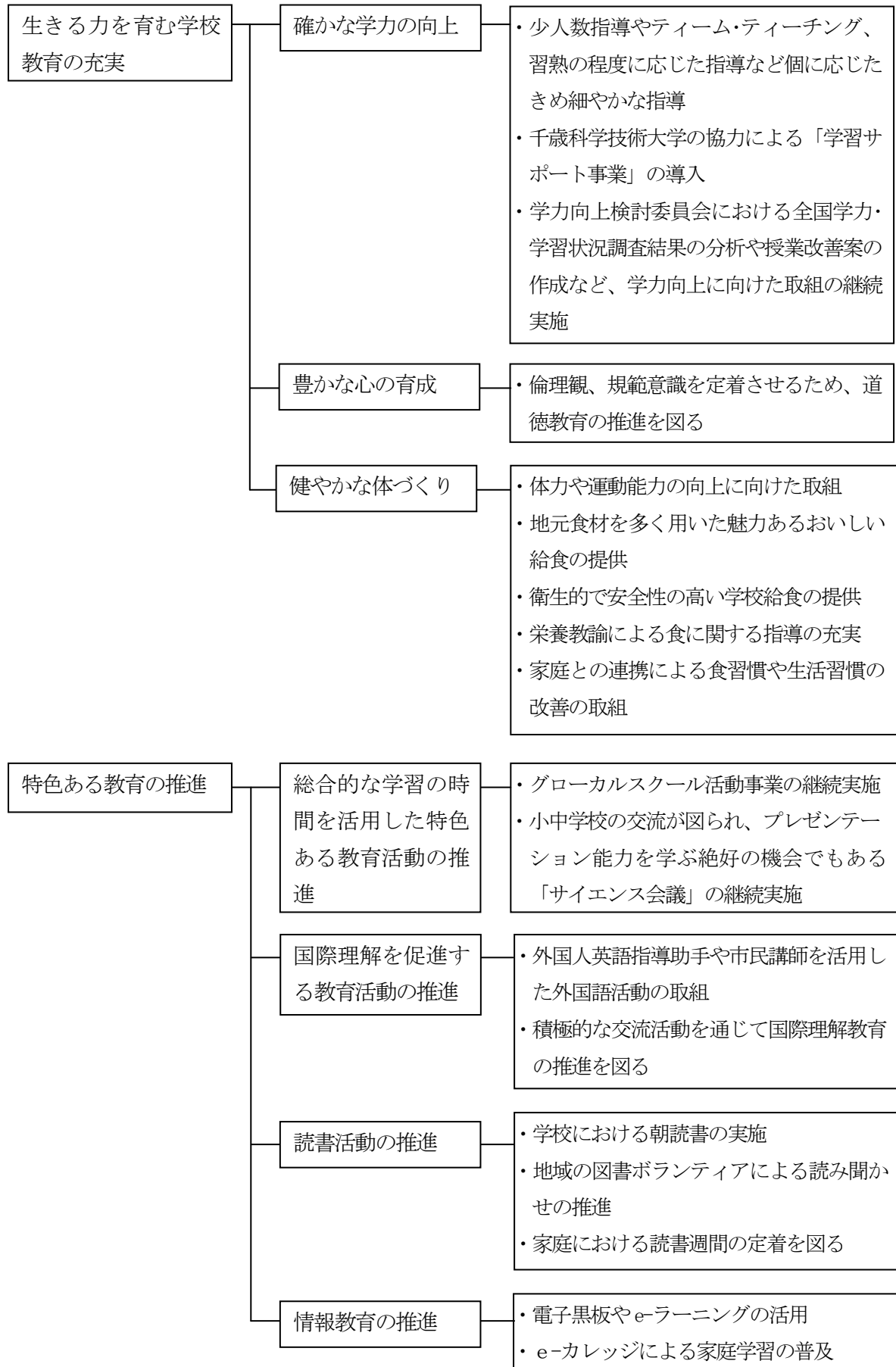
2 平成 25 年度主要事業予算

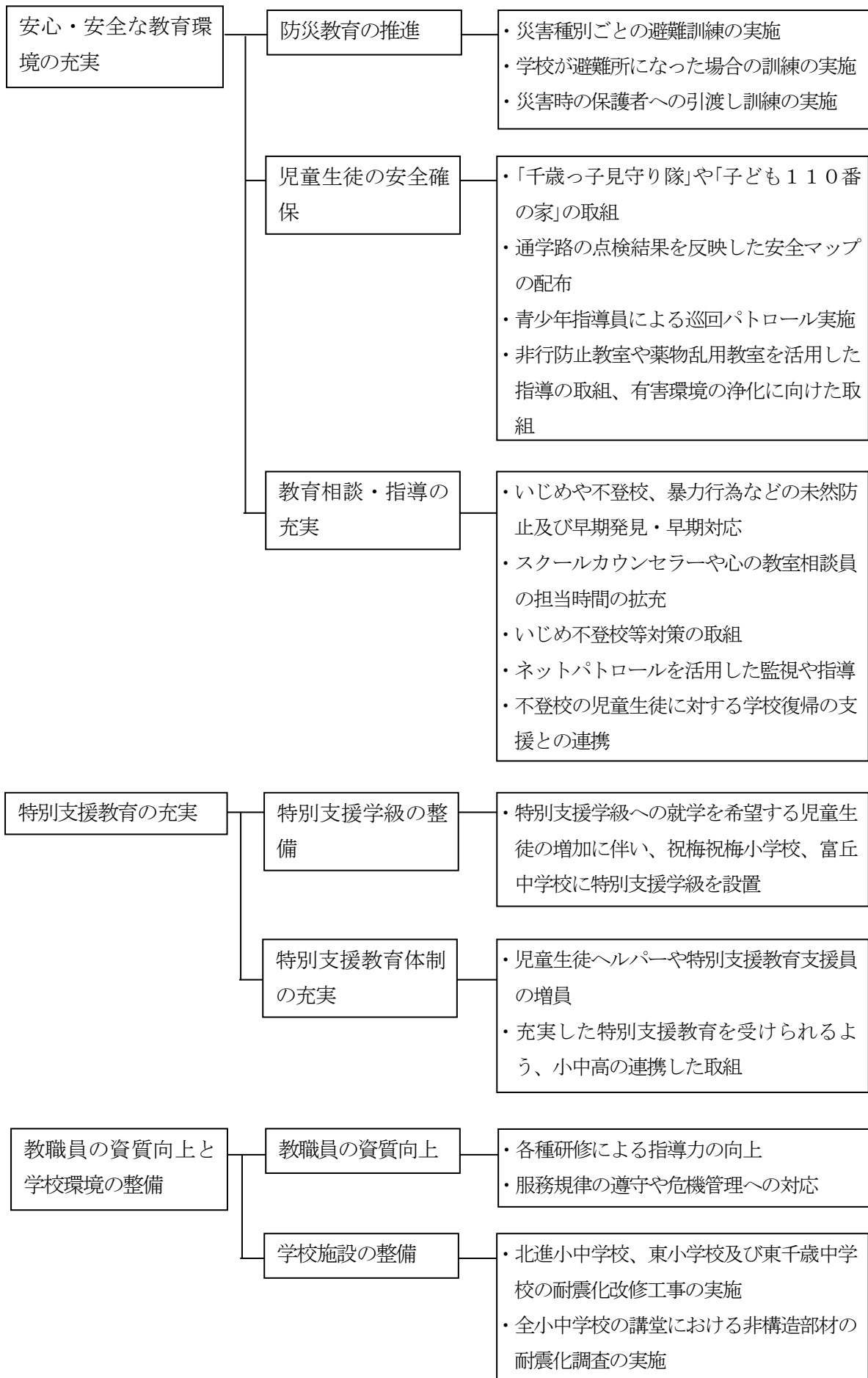
(単位：千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
教育費			3,549,351	
		教育総務費	227,864	
		教育委員会費	43,514	教育委員会運営管理業務経費、教育委員会庁舎管理経費、修学支援事業費等
		教育振興費	173,945	特別支援教育体制推進事業費、スクールバス運行経費、外国青年招致事業費、心の教室相談配置事業費等
		教育財産管理費	10,405	教員住宅維持管理費経費、道立高等支援学校施設非構造部材耐震化事業費等
小学校費			853,562	
		小学校管理費	569,320	小学校運営管理業務経費、小学校施設管理経費、小学校就学援助事業費等
		小学校営繕費	258,538	小学校維持補修業務経費、小学校大規模改修事業費等
		小学校建設事業費	25,704	北陽小学校仮設校舎整備事業費(リース料)
中学校費			407,530	
		中学校管理費	332,662	中学校運営管理業務経費、中学校施設管理経費、中学校就学援助事業費等
		中学校営繕費	74,868	中学校維持補修業務経費、中学校大規模改修事業費等
幼稚園費			213,002	
		幼稚園振興費	213,002	幼稚園教育振興事業費(就園奨励費補助金等)
社会教育費			531,260	
		社会教育振興費	11,479	高齢者学級開催事業費、家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費等
		青少年対策費	143,561	青少年健全育成事業費、青少年会館施設管理経費等
		公民館費	25,465	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費等
		文化振興費	43,245	埋蔵文化財センター管理業務経費、文化活動支援事業費、上長都文化財収蔵施設維持管理業務経費、国指定史跡整備事業費等
		図書館費	117,387	図書館施設管理経費、小中学校司書派遣事業費等
		市民文化センター費	190,123	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費等
保健体育費			1,316,133	
		保健体育総務費	31,521	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費等
		給食センター費	346,495	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費、給食センター施設整備事業費等
		体育振興費	938,117	スポーツ普及推進事業費、スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費、スポーツセンターリニューアル事業費等

V 学校教育

〔1〕学校教育の主な施策





[2]児童生徒数の推移

1 小学校

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
千歳小	297	295	290	279	280	297	301	306	341	325	321
北進小	30	29	27	37	40	38	41	36	32	28	29
北栄小	288	292	283	276	305	304	295	273	267	266	252
末広小	406	435	443	451	455	481	463	466	467	485	499
緑小	337	322	334	349	348	349	359	380	392	414	430
千歳第二小	493	480	494	473	444	419	392	380	339	339	321
駒里小	13	13	10	8	11	14	11	8	9	8	10
長都小	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支笏湖小	8	9	11	11	12	12	11	12	11	13	15
日の出小	678	680	681	673	655	643	616	588	564	523	492
信濃小	459	447	457	446	433	428	445	452	442	434	426
高台小	348	330	325	324	306	303	315	304	299	308	306
東小	24	27	22	27	28	28	28	29	27	25	26
祝梅小	484	485	472	434	421	382	376	334	328	318	316
桜木小	538	532	547	532	527	497	471	443	425	400	371
向陽台小	268	272	264	250	233	220	213	191	169	174	177
北陽小	572	594	652	703	741	826	946	1,015	1,117	1,185	1,264
泉沢小	594	595	579	513	505	454	427	397	341	323	305
合計	5,845	5,842	5,891	5,786	5,744	5,695	5,710	5,614	5,570	5,568	5,560



2 中学校

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
千歳中	459	439	444	452	446	454	462	485	476	567	558
北進中	17	16	21	24	24	20	22	31	36	38	30
青葉中	560	550	532	518	536	546	533	507	469	451	431
東千歳中	22	19	15	11	12	9	11	15	13	12	8
長都中	11	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駒里中	11	12	8	9	11	10	9	8	9	9	8
真町中	112	93	80	83	91	91	93	81	89	-	-
富丘中	742	772	830	850	900	899	899	872	936	536	531
北斗中	326	340	346	378	382	393	376	375	371	376	360
向陽台中	445	443	441	433	412	413	379	395	386	344	296
勇舞中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	426	477
合計	2,705	2,691	2,717	2,758	2,814	2,835	2,784	2,769	2,785	2,759	2,699

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

[3]学校の概要

1 小学校

 <h2 style="text-align: center;">千歳小学校</h2> <p style="text-align: center;"> 所在：千歳市本町3丁目4番地の1 電話：0123-23-2181 創設：明治12年10月15日 面積：校地15,089㎡、校舎5,309㎡ </p>			
校長名	西木 祭	教頭名	山田 聡
教職員数	教員16名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	12学級 321名
教育目標	自然や人とふれ合い、心豊かに 明日に向かってみがきあう ～私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです～ ○すすんで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○意志の強い子 ○きたえる子 <重点目標> 自ら学び つながり合いを大切にし たくましく生きる子どもの育成		
研究主題	つながり合って、自己をひろげる児童の育成 ～思考の見える言語活動を充実させ、学ぶ喜びを実感できる授業づくり～		
特色ある教育活動	1. 「共に生きる」を総括テーマとする総合的な学習の時間「あおば学習」の推進 (1) 国際理解教育 ○3年～世界のくらし ○4年～世界の子ども・学校 ○5年～守ろう地球の宝物 ○6年～世界の人と手をつなごう ○アメリカアラスカ州サンドレイク小学校との交流 26年1月訪問予定 (2) 自然学習 ○青葉公園での自然活動を軸とした、調査・発表等活動 (3) 学年テーマ学習 ○3年～福祉 ○4年～郷土理解 ○5年～千歳市の自然と深川市の自然 ○北海道の歴史 (4) 情報教育 2. 全校朝学習「きらめきタイム」の実践 ○国語～書く活動の基盤作り ○算数～前学年や前期の既習事項の復習 3. 立腰の姿勢と「大丈夫」の声かけ		
沿革	明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年4月 千歳教育所となる 明治28年3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成6年6月 サンドレイク小学校児童他 29名来校 相互訪問開始 平成9年3月 本校児童他 54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成18年6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 平成20年1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童 他 26名） 平成21年6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 10月 耐震化大規模改修工事完了 平成23年1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名） 平成24年6月 サンドレイク小学校児童他35名来校		



北進小学校

所在：千歳市北栄1丁目2番6号
 電話：0123-23-3439
 創設：昭和35年5月5日
 面積：校地11,341㎡、校舎2,607㎡



校長名	白川 純	教頭名	丸山 真嗣典
教職員数	教員10名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	知的障がい 3学級 自閉症・情緒障がい 2学級 計 5学級 29名
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体）		
研究主題	学んだことが日常生活に生きる算数・数学科の授業を目指して — 「数と計算」のつまづきを分析し、般化へのアプローチを考察 —		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 (国語・算数のグループ別学習) 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 (勤労・生涯学習、フィールドワークなど) 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学习 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿革	昭和35年5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年4月 北進小中学校として独立 昭和49年4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年4月 情緒障害学級開設 平成3年3月 開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年をお祝いする会		





北 栄 小 学 校

所在：千歳市北栄1丁目10番2号
 電話：0123-23-4138
 創設：昭和28年5月25日
 面積：校地30,302㎡、校舎6,033㎡



校 長 名	河 野 修 一	教 頭 名	大 村 正 俊
教 職 員 数	教員18名 養護 1名 事務 2名	学 級 数 児 童 数	13学級 252名 (うち特殊学級5学級30名)
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に工夫して学習する子ども (進んで学習する子ども) ○情操に富み創造的な子ども (豊かな心をもった子ども) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども (なかまを大事にする子ども) ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども (健康で明るい子ども) ○勤労を愛する子ども (みんなといっしょに働く子ども) <p>【重点目標】 自主自律的に学習活動に取り組む子どもの育成</p>		
研 究 主 題	<p style="text-align: center;">意欲を持って学習に取り組む子どもの育成 ～わかる・できる喜びを実感できる授業づくりをめざして～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級（知的障がい、情緒障がい）「たんぼぼ学級」を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち共に生きるための相互理解の場としている。 ○ 魅力ある環境構成を工夫し、身近な自然に自ら関わっていける子どもの育成に努めている。 ○ 縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間、各種集会活動等、障がい児学級（たんぼぼ学級）交流 ○ 管内屈指のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクール、地域行事への参加 		
沿 革	<p>昭和28年 5月 千歳小学校より分離し9学級で開校</p> <p>昭和48年 5月 情緒障がい児学級新設</p> <p>昭和55年 6月 スクールバンド結成</p> <p>平成15年11月 開校50周年記念式典挙行</p> <p>平成17年 2月 石狩教育局長表彰受賞（スクールバンド）</p> <p>平成18年 3月 「北栄子どもを見守り隊」発足</p> <p>平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典</p> <p>平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場</p> <p>平成22年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場</p> <p>平成23年 7月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞</p> <p style="padding-left: 20px;">10月 北海道小学校バンドフェスティバル旭川大会金賞受賞</p> <p style="padding-left: 20px;">12月 第31回定期演奏会（児童合唱に125名参加）</p> <p>平成24年 7月 中西圭三&SEASONS、スクールバンドによるジョイントコンサート</p> <p style="padding-left: 20px;">8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会金賞受賞</p> <p style="padding-left: 20px;">10月 北海道小学校バンドフェスティバル旭川大会銅賞受賞</p> <p style="padding-left: 20px;">12月 第32回定期演奏会（児童合唱に100名参加）</p>		

	<h2 style="margin: 0;">末 広 小 学 校</h2> <p style="margin: 5px 0 0 0;">所在：千歳市富丘2丁目6番2号 電話：0123-23-4127 創設：昭和31年4月1日 面積：校地22,005㎡、校舎5,931㎡</p>		
校 長 名	山 口 輝	教 頭 名	赤 沼 宏 樹
教 職 員 数	教員22名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学 級 数 児 童 数	17 学級 500 名
教 育 目 標	<p>○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 ＊重点教育目標「自ら学び、共によりよく生活する子ども」</p>		
研 究 主 題	主体的に考え、自ら学ぶことができる子どもの育成 ～「基礎・基本」の定着と「表現力」の向上を目指した指導のあり方～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>① アイヌ文化学習（総合的な学習、生活科） 全学年のカリキュラムとして編成し、本物に触れる体験重視の学習活動を軸にふるさとを愛し、自然や命を大切にすることを育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材の導入や保護者・地域の人々の学習支援を目指し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の創造に努めている。</p> <p>② 福祉教育への取り組み（お年寄りとの交流） 地域の老人福祉施設や老人クラブの人たちと交流し、人と人との温かいふれあいを深めるとともに、地域社会の一員としての自覚と連帯感を育てている。</p> <p>③ 授業の工夫改善 個に応じた指導の工夫を進め算数等でのT T指導による基礎基本の定着、地域人材活用やゲストティーチャーによる多様な授業の充実と創造を図る。</p>		
沿 革	<p>昭和31年4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年3月 現在地に校舎移転 平成8年11月 開校40周年をお祝いする会挙行 平成10年3月 北海道教育実践表彰受賞 平成15年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加 平成22年8月 道議会議員アイヌ文化学習視察 9月 全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年6月 ユネスコスクール認定 平成23年10月 ふるさと教育推進事業実践校 平成24年2月 朝日のびのび教育賞受賞 平成25年4月 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校</p>		



緑 小 学 校

所在：千歳市緑町4丁目4番1号
 電話：0123-23-4107
 創設：昭和32年4月1日
 面積：校地19,328㎡、校舎6,498㎡



校 長 名	杉 本 功	教 頭 名	高 橋 雅 城
教 職 員 数	教員23名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	13学級 430名
教 育 目 標	～ 私たちは 未来へと進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます…… からだ (体) ・すすんで学び考えます…… あたま (知) ・めあてをもって努力します…… 生きる力 (意) ・人や地球にやさしくします…… こころ (情)		
研 究 主 題	自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成 ～確かな「読み」を追究する言語活動の工夫～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緑っ子バザール (全校、地域参加によるふれ合い集会) ○ ボランティア活動 (地域別異学年グループによる清掃・美化活動) ○ 地域の施設・人材を活用した授業 ○ 全学年での外国語活動 ○ 千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業 ○ カヌー体験 (プールや河川の水に対する安全教育) ○ 全学年でのアイヌ文化学習 ○ ユネスコスクール登録 		
沿 革	昭和32年4月 新設開校 昭和49年4月 言語治療教室開設 昭和52年9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年4月 蘭越小学校と統合 昭和59年1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成7年4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成18年5月 千歳っ子見守り隊発足 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年3月 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞 (北海道新聞社賞) 4月 お話し会「びっころ」開始 12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年5月 あそびの日in千歳会場 8月 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 平成23年3月 ユネスコスクールに加盟 平成24年4月 「学校力向上に関する総合事業」における近隣校に指定 5月 千歳市人権委員会から「人権の花」の贈呈 10月 お話し会びっころ10周年記念		



千歳第二小学校

所在：千歳市清流1丁目4番1号
 電話：0123-23-2062
 創設：大正9年12月13日
 面積：校地25,693㎡、校舎4,950㎡



校長名	山田 浩人	教頭名	安 榮 智 裕
教職員数	教員16名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	12 学級 321 名
教育目標	○よく考え 進んで学習する子 ○明るく 思いやりのある子 ○ねばり強く たくましい子		
研究主題	『主体的に活動する子どもの育成』 ～確かな学力を身につける算数科の授業づくりを通して～		
特色ある教育活動	① T T・少人数指導の実施 ・学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(算数科・体育科) ② 特別支援教育の充実 ・校内の特別支援体制の整備と共に、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・心の教室相談員を効果的に活用し、子どもや保護者に対する教育相談の充実を図る。 ③ パワーアップ学習の取り組み(朝の10分間学習) ・朝の短時間を利用して集中して取り組むことにより、読書活動への意欲向上や学習のつまずきの克服を図る。 ④ 地域の人材や団体との交流を通じた豊かな体験の機会の拡大 ・地域の老人クラブ(清流親和会)との交流(昔の遊び・花壇づくりなど) ・地域の人材を講師として・・・サケのふるさと館(学芸員)の協力により、サケの誕生と成長(受精卵→孵化→稚魚)の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 ・アイヌ文化の学習・・・伝統楽器(ムックリ)づくりやサケの解体体験など。 ・幼稚園(児)との交流・・・近隣の幼稚園との相互交流。		
沿革	大正9年12月 千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和21年4月 千歳第二国民学校として独立 昭和22年4月 千歳第二小学校となる 昭和43年4月 泉郷小学校統合 昭和45年12月 開校50周年記念式典挙行 平成4年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成11年1月 サケの稚魚の飼育開始 3月 増築校舎完成(第1期) 平成12年11月 開校80周年記念公開授業研究会 平成15年4月 少人数指導開始 平成18年4月 二学期制実施 平成19年5月 スクールカウンセラー配置事業開始 12月 児童用PC40台、指導用PC1台設置 平成20年4月 特別支援教育支援員配置開始 平成22年12月 開校90周年記念集会 平成23年7月 東日本大震災にかかわり仙台市教育委員会へ教員派遣 (平成23年7月1日～平成24年3月31日)		



駒里小学校

所在：駒里945番地の6
電話：0123-23-3237
創設：明治39年9月1日
面積：校地42,833㎡、校舎1,207㎡



校長名	吉川武志	教頭名	關口涼
教職員数	教員 4名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	3学級 10名
教育目標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども）		
研究主題	自ら学び自分の力で表現する子どもの育成 ～主体的な学びの中で、自己肯定感を高める言語活動の充実～		
特色ある教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン、 (2) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ等の回収 3 体づくり (1) パークゴルフ (2) 歩くスキー (3) 中学校部活との連携（バドミントン）		
沿革	明治33年6月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治39年9月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正6年4月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和22年4月 阿宇砂里小学校となる 昭和27年4月 駒里小学校となる 平成8年9月 開校90周年記念集会举行 平成10年10月 全道へき地複式・併置校教育研究大会石狩大会会場 平成15年4月 交通安全キャンペーン表彰 平成16年9月 交通安全キャンペーン20年達成 平成17年8月 大規模改修 平成18年11月 小学校開校100周年 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成19年5月 石狩管内複式校新任者研究大会 平成20年7月 文科省指定 豊かな体験活動 平成21年9月 交通安全キャンペーン25年達成		



支 笏 湖 小 学 校

所在：千歳市支笏湖温泉 2 番地
 電話：0123-25-2729
 創設：昭和 23 年 12 月 1 日
 面積：校地 14,940 m²、校舎 1,643 m²



校 長 名	品 田 敏	教 頭 名	齊 藤 康 輔
教 職 員 数	教員 4名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 児 童 数	3 学級 15 名
教 育 目 標	「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども（知） ・明るく、協力する子ども（情） ・根気よく、実行する子ども（意） ・心身をきたえる子ども（体） 重点目標（学校課題） 『互いに認め合い 進んで行動する子ども』の育成		
研 究 主 題	言葉を大切にして表現する子どもの育成 ～調和のとれた表現力の高まりを目指して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 愛鳥モデル指定校～地域の特性を生かし、毎朝の給餌・観察活動、学習・行事との関連を図る。 2 ヒメマス学習～地域の特産であるヒメマスを取り上げることで地域の自然環境や産業人々の暮らしを学習し、理科、社会科、生活科、総合学習、行事との関連を図る。 3 全校鼓笛隊～鼓笛隊を全校児童で組織し、地域行事に参加することで支笏湖地区に貢献している自分達に気付かせ、地域住民や観光客へ披露することで自信と意欲を育てる。 4 公園清掃～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努めている。 5 高知県南国市立奈路小学校との交流（「心の直行便」活動）～ 一年おきに相互学校訪問し、手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、また、離れた地域の友だち、父母との「心の交流」を行っている。		
沿 革	昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可 現在のユースホステルに校舎完成 昭和24年 1 月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7 月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7 月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2 月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9 月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2 月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年2・8月 南国市立奈路小学校との交流 開校50年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5 月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）受賞 平成19年 5 月 野生生物保護功労者表彰 平成25年 5 月 愛鳥週間野生生物保護功労者表彰 環境大臣賞 受賞		



日の出小学校

所在：千歳市日の出2丁目3番20号
 電話：0123-23-2670
 創設：昭和41年12月1日
 面積：校地 21,997 m²、校舎 4,899 m²



校 長 名	入 沢 潤 司	教 頭 名	松 井 明 生
教 職 員 数	教員23名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 児 童 数	17 学級 492 名
教 育 目 標	◎進んで学習する子 (知) ◎思いやりのある子 (情) ◎考えて行動する子 (意) ◎元気に活動する子 (体) ◆元氣なあいさつ、学び喜び、未来へはばたく 日の出小		
研 究 主 題	自ら学び、主体的に学習に取り組むことができる子どもの育成 ～「読解力」を高める国語科学習指導方法の研究～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 学習活動の面 ① 授業のねらいを明確化し、基礎基本の定着を図る指導過程を構築する取り組み ・研究教科を算数科とし、伝え合う力を一層伸ばし、互いの考えを比較したり友だちの考えを基に課題解決に迫るような学び合う意欲や態度を身に付ける指導 ② 目標を持たせる検定と放課後学習の取り組み ・毎週1回、漢字検定と計算検定を実施し、意欲化と定着を図る ・検定に再挑戦できる放課後学習の充実（担任外の教員が担当） (2) 学校行事及び児童会の活動に関わる取り組み ① 日の出っ子ひろば ② あいさつ運動 ③ リングプル集め ④ 愛キャップ集め (3) その他 地域と関わりのある活動 ① P T Aふれあいフェスティバル ② ふれあいボランティアの活用（AKS活動） ③ 読み聞かせの会「やまぶどうの会」との連携（土曜日の図書室開放） ④ 防犯ボランティア「日の出っ子見守り隊」との連携		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年1月 開校記念式挙行 昭和51年3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業 平成24年10月 千歳市学校課題研究発表会開催 北海道算数数学教育研究大会石狩・千歳大会（小学校会場）開催		



信濃小学校

所在：千歳市信濃2丁目34番12号
電話：0123-23-4752
創設：昭和43年4月1日
面積：校地23,236㎡、校舎5,644㎡



校長名	亀浦正幸	教頭名	山田篤秀
教職員数	教員20名 養護1名 事務2名	学級数 児童数	14学級 426名
教育目標	○考える子 ○やさしい子 ○がんばる子 ○じょうぶな子		
研究主題	「考えを伝え合い、学び合う信濃っ子」の育成 ～算数科の基礎基本定着と学習形態の工夫を通して～		
特色ある教育活動	(1) ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・地域の老人クラブ、幼稚園との交流 (2) 異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させることにより、自覚と責任感を養う活動 ・ジャンボタイム～子ども達の手でつくりあげる異学年のふれあい活動 ・ノースリーダー～北校舎で高学年に仲間入りした4年生が低学年と交流する活動 (3) ALTによる英語を使った様々なゲームや歌、外国の文化(衣食住)に触れるクラブ活動。～Eクラブ (4) 危険予測力を高めることに重点を置いた安全指導の積極的展開 ・引き渡し訓練、災害図上訓練とそなえる見学		
沿革	昭和43年4月 新設開校 昭和47年12月 体育館(講堂)完成 昭和48年7月 開校5周年記念式典 昭和53年3月 桜木小分離 10月 開校10周年記念式典举行 昭和63年1月 「信濃の森」購入 10月 開校20周年記念式典举行 平成2年11月 学校プール完成 平成6年4月 北陽小分離 平成10年8月 開校30周年記念式典举行 平成20年11月 開校40周年記念事業学校課題研究発表会		

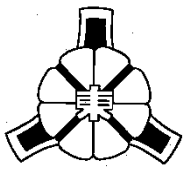


高台小学校

所在：千歳市富丘1丁目19番4号
電話：0123-23-9109
創設：昭和45年4月1日
面積：校地21,844㎡、校舎5,068㎡



校長名	山内雅彦	教頭名	今村敏之
教職員数	教員16名 養護1名 事務1名	学級数 児童数	12学級 306名
教育目標	深く考え 学び合う子（重点 深く考え、進んで行動する子どもの育成） 広い心で 助け合う子（重点 明るく思いやりのある子どもの育成） 心豊かに 生きぬく子（重点 健康で、粘り強くやり抜く子どもの育成）		
研究主題	意欲的に学習に取り組み、自ら考えて表現する子どもの育成		
特色ある教育活動	1 確かな学力の向上 少人数指導、長期休業中の学習サポートの推進 2 心の教育の充実 「生活アンケート」による実態把握、花壇づくり・リサイクル運動の推進 3 健やかな体づくりの推進 全学年による体力テストの実施、「生活ノート」を活用した基本的な生活習慣づくり 4 安全で安心な学校づくり 引き渡し訓練の実施、いじめへの早期対応、見守り隊・下校ボランティアとの連携による登下校の安全確保		
沿革	昭和45年4月 新設開校 昭和54年5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年11月 開校10周年記念式典祝賀会举行 平成2年11月 開校20周年記念式典举行 平成12年9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典举行 平成15年3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 8月 「人権の花」感謝状受賞 平成20年1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流 平成21年5月 人権の花贈呈式 平成22年5月 「あそびの日 in ちとせ高台小学校」会場校 平成23年5月 非行防止教室開催 平成24年12月 冬休みの勉強会開催		



東 小 学 校

所在：千歳市東丘 824 番地の 30
 電話：0123-21-3200
 創設：昭和 46 年 1 月 1 日
 面積：校地 22,150 m²、校舎 2,183 m²



校 長 名	目 黒 壽美子	教 頭 名	近 藤 弘 隆
教 職 員 数	教員 6名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 児 童 数	4 学級 26 名
教 育 目 標	「おもいやる心で たくましく 学びつづける 東っ子」 重点目標 『豊かな知恵と、たくましい実践力をもった子どもの育成』		
研 究 主 題	自ら考え、共に学び、意欲的に学習に取り組む子どもの育成 ～算数科の授業を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業考える活動を通し、自分達の生活が多くの人々に支えられていることに気づかせる。また、地域の農業と食との関わりについても学ぶ。 ・学校田（米）活動を通し、作物を育てる苦労や喜びを体験させるとともに、主食について考えさせる。 2 ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所や老人クラブと交流し、地域への貢献を通して地域の一員としての誇りをもつ。 ・北進小学校との交流活動を通して、他校の児童との交流を深める。 3 学校行事・集会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同運動会（保育所、地域）、学芸会、雪中運動会等の地域一体に行事を通して、ふるさとを大切にすることを育てる。 ・栽培活動集会（講師依頼）、もちつき集会（講師依頼、学校間交流）百人一首集会（講師依頼）を通して地域の人々との交流を深め、ふるさとを大切にすることを育てる。 4 体力づくり（全校なわとび）と歯磨き指導 <ul style="list-style-type: none"> ・業間を活用し、なわとびの取り組みを行い、体力づくりを図る。 ・給食終了後に、全校一斉に歯磨き指導を実施している。 5 パレットタイム <ul style="list-style-type: none"> ・パレットタイム（朝学習の名称）を確保し、国語・算数を中心とした「くり返し学習」「朝読書」を実施している。 6 縦割り班(異学年)活動を日常的に行い、思いやりの心やたくましい心を育む。 (花壇・給食・稲作) 		
沿 革	<p>昭和46年 1 月 幌加小、協和小、東丘小の 3 校統合開校</p> <p>昭和55年11月 開校10周年記念式典挙行</p> <p>平成 2 年11月 開校20周年記念式典挙行</p> <p>平成10年10月 全道へき複大会第5分科会会場校</p> <p>平成12年12月 開校30周年記念式典挙行</p> <p>平成13年 9 月 コンピューター室整備</p> <p>10月 学校林記念植樹</p> <p>平成14年10月 石教研へき複部会研究集会</p> <p>平成23年 1 月 開校40周年記念を祝う会開催</p> <p>9 月 全道へき複研究大会石狩プレ大会第4分科会会場校</p> <p>平成24年 9 月 全道へき複研究大会石狩大会第4分科会会場校</p>		



祝梅小学校

所在：千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号
電話：0123-23-1110
創設：昭和51年4月1日
面積：校地21,444㎡、校舎5,294㎡



校長名	菊地英一	教頭名	横山浩之
教職員数	教員16名 養護1名 事務1名 栄養1名	学級数 児童数	14学級 316名 (うち特殊学級2学級3名)
教育目標	『すくすく のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う 祝梅っ子 本年度重点教育目標 ・「みとめ合い まなび合う 祝梅っ子」 ～通いたい 通わせたい 勤めたい 温かな学校づくり～		
研究主題	「豊かに表現し合い、生き生きと学ぶ子どもの育成」 ～言語活動の充実を目指して～		
特色ある教育活動	1 環境教育 ・教材園での植物栽培活動(学校花壇、校立公園) ・動物の飼育活動(サケの飼育活動、サケの交流事業、金魚の飼育活動) (リサイクル活動、環境整備作業) 2 人権教育 ・道徳教育の充実(人権教室、福祉体験学習、ありがとう集会) 3 学力向上の取り組み ・チャレンジタイム、祝梅タイム、詩の暗唱、家庭学習(自学) 4 四期のサイクル ・わくわくステージ(4月～7月)自分の目標を意識し、進んで取り組む期 ・のびのびステージ(8月～9月)自分の良さを伸ばす期 ・じっくりステージ(10月～12月)前期を振り返り、自分を見つめじっくり取り組む期 ・しっかりステージ(1月～3月)今までの自分を振り返り、新学年につなげる期		
沿革	昭和51年4月 新設開校 昭和55年9月 開校5周年記念式典挙行 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成6年1月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成7年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年1月 岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成22年3月 多目的トイレ完成 平成23年4月 学校教育目標の改訂、新しい図書スペース「図書の森」完成 平成24年9月 体育館耐震改修工事完了 平成25年4月 あさがお(知的、情緒)学級開設		



桜木小学校

所在：千歳市桜木7丁目1番1号
 電話：0123-22-3301
 創設：昭和53年4月1日
 面積：校地26,817㎡、校舎5,548㎡



校長名	加藤 丈明	教頭名	泉山 浩幸
教職員数	教員21名 養護1名 事務2名	学級数 児童数	13学級 371名
教育目標	自ら学ぼうとする意欲と ともに高まろうとする意志をもち 感性豊かな中にも 自律心と協調心をもち 何事にも挫けない強い心をもち 健やかな体でたくましく生きる 人間の育成を図る 【目指す子ども像】知：すすんで学ぶ子 情：思いやりのある子 意：がんばりぬく子 体：健康で明るい子		
研究主題	自ら学びを深めたり広げたりできる子どもの育成 ～既習事項を活用し、筋道を立てて考える算数科の指導を通して～		
特色ある教育活動	(1) 「桜木博物館」「桜木小公園」 ・具体物や自然との関わりの中で五感を通して学ぶ学習の展開 (2) 「国際理解教育」 ・他国の文化を学ぶと共に自国の文化を考える。 (3) 地域やお年寄りとのふれあい活動 ・コスモス花壇づくり・昔の遊び交流・読み聞かせの会・学芸会への招待 ・勇舞川不思議発見 ・勇舞川の観察 (4) 桜木メッセージ・スーパークリーン大作戦（地域の方々との交流・清掃活動）		
沿革	昭和53年4月 新設開校 昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行 平成元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成 平成8年2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結 平成10年11月 開校20周年記念式典挙行 平成16年2月 石狩教育実践奨励表彰受賞 5月 すこやか農園造成 平成19年10月 石教研学校課題研究発表会 12月 開校30周年記念式典挙行 平成20年8月 ミレニアムタイムカプセル開封式 平成21年3月 環境省「こどもホタルエンジャー」優秀賞受賞 平成22年11月 第一回桜木メッセージ開催 平成24年4月 学校力に関する総合実践事業指定校 平成24年8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞		



向陽台小学校

所在：千歳市若草5丁目1番地
 電話：0123-28-2111
 創設：昭和57年4月1日
 面積：校地29,161㎡、校舎6,759㎡



校 長 名	西 野 典 男	教 頭 名	半 谷 真 理 亜
教 職 員 数	教員14名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 児 童 数	9 学級 177 名 (うち特別支援学級 3 学級 9 名)
教 育 目 標	明るく豊かな心とたくましい体を持ち、 進んで自ら創造し実践する子どもの育成をめざす ○すすんで 考える子 ○すなおで 思いやりのある子 ○ねばり強く やりぬく子 ○明るく たくましい子 重点教育目標 【やさしく、かしこく、たくましい子どもの育成】 ～人の話をよく聞き、やさしい言葉がけができる子～		
研 究 主 題	「進んで運動に親しみ、心身ともにたくましい子どもの育成」 ～運動の基礎・基本の定着を目指した指導の工夫～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1. 花と小鳥と緑を愛する活動：ひまわりの栽培活動、小鳥のレストラン、校庭の植物（樹木）観察活動 2. 異学年集団活動：向陽っ子タイム 3. 地域の人材を生かした活動：あおぞら生け花教室、昔遊び、町の探検 4. 地域老人とのふれあい活動：あおぞら収穫祭、ミニ運動会 5. 全校あげて家庭学習の習慣化：家庭学習マニュアルの配布 6. 可能性を伸ばす特別支援教育：個々の支援計画に基づき交流学习体験学習を取り入れた教育活動 7. 図書室の地域開放（ボランティア）：図書ボランティア「森ック」との連携		
沿 革	昭和57年4月 新設開校 平成4年10月 開校10周年記念式典挙行 平成5年～ 毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成6年4月 北海道愛鳥モデル校指定 平成9年3月 泉沢小学校分離 平成10年4月 あおぞら(情緒、知的障害)学級開設 平成11年3月 全道PTA広報紙コンクール優秀賞受賞 平成13年11月 開校20周年を祝う集い 平成14年6月 学校図書館地域開放 平成15年4月 難聴学級開設 平成16年4月 肢体不自由学級開設 平成18年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年5月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成20年2月 文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 12月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成21年8月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成22年8月 千歳市花いっぱいコンクール特別賞受賞 平成23年10月 文部科学省 読書活動優秀実践校表彰 12月 開校30周年記念式典 平成24年 4月 北海道愛鳥モデル指定校 11月 北海道花いっぱいコンクール奨励賞受賞		



北陽小学校

所在：千歳市北陽3丁目9番1号
 電話：0123-42-3441
 創設：平成6年4月1日
 面積：校地 28,874 m²、校舎 6,165 m²



校長名	池川良一	教頭名	小松義幸
教職員数	教員45名 養護2名 事務2名	学級数 児童数	37学級 1,264名 (うち特別支援学級1学級3名)
教育目標	<p>◎自分や友達の良さを生かし、心をより豊かにしようとする子どもの育成 (情) 思いやりをもち、助け合う子 (やさしい子) (意) 目標に向かって、努力する子 (がんばる子) (知) 自ら学び、深く考える子 (考える子) (体) 進んで、体をきたえる子 (元気な子)</p> <p>【重点目標】 ○自ら考え、進んで取り組む子どもを育てる</p>		
研究主題	<p>「自分の思いや考えを生かし、共に学び合う子どもの育成」 ～話し合い活動を通して考えを深め、共に創り上げる授業を目指して(算数科)～</p>		
特色ある教育活動	<p>◎ <視点1 授業改善> 確かな学力と豊かな心を同時に育てる授業 ・認め合い、学び合いのある話し合い指導の充実 ・ノート指導の充実や読書タイム(朝読書)、はげみタイム(朝学習)の実施</p> <p>◎ <視点2 自主的・実践的な活動> 自らの役割と責任を果たす取組 ・挨拶運動や資源回収、校内外美化などのボランティア活動 ・様々な人との交流活動</p> <p>◎ <視点3 家庭や地域との連携> 子育てのパートナーとしての関係づくり ・開校20周年記念事業や土曜の楽校、北陽っ子祭りの実施</p>		
沿革	<p>平成6年4月 新設開校 平成9年3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12年・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年3月 増築校舎完成 平成21年3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年3月 プレハブ校舎増築完了 平成25年11月 開校20周年記念式典</p>		



泉 沢 小 学 校

所在：千歳市柏陽2丁目9番地
 電話：0123-28-5830
 創設：平成9年4月1日
 面積：校地 32,022 m²、校舎面積 5,627 m²



校 長 名	高 森 幸 代	教 頭 名	山 口 浩
教 職 員 数	教員15名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 児 童 数	11 学級 305 名
教 育 目 標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子 (情) ○ねばり強く、がんばりぬく子 (意) ○進んで学び、深く考える子 (知) ○明るく元気で、たくましい子 (体)		
研 究 主 題	いきいきと学ぶ算数科指導の創造 ～「学習サイクル」の確立(習得し活用する授業)～		
特 色 あ る 教 育 活 動	～ いじめ防止・不登校対策指導のできる学校づくりと総合的な学習の時間のあり方の見直し・地域を生かした教育～ 1 いじめ・不登校対策を全職員・保護者・地域が一体となって取り組む方策 ○ いじめ不登校対策のためのブロックや学年部会、全教育活動の一貫としての取り組み ○ 子どものサインを見逃さず「いじめ」の認識を正確に捉え、早期発見・早期の適切な対応によりいじめ・不登校を根絶させる取り組み 2 総合的な学習時間の見直し、地域を生かした教育活動 ○ 臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 ○ 向陽台の諸施設(リハビリ学院・航空学園など)を生かしたキャリア教育 ○ 泉沢小の「かがやきの森」・学校林を生かした自然体験活動や環境教育 ○ 老人ホーム・赤い羽根・車椅子などボランティア活動の推進		
沿 革	平成9年4月 新設開校 平成10年9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年6月 卒業記念植樹 平成12年9月 授業自由参観実施(3日間) 平成13年4月 TT及び少人数指導導入 6月 学校評議員制度実施 8月 コンピューター42台設置 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年4月 P T A規約大幅改訂 10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道徳実施 平成20年2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道徳実施 平成21年2月 「遊々の森」認定書締結式 5～11月 「かがやきの森」整備開始 平成22年2月 第3回全校道徳実施 平成23年10月 第2回P T Aバザー開催 11月 第4回全校道徳実施 平成24年11月 保護者引き取り型下校訓練実施 平成25年2月 第5回全校道徳実施		

2 中 学 校

千 歳 中 学 校					
		所在：千歳市栄町4丁目35番地 電話：0123-23-3161 創設：昭和22年6月4日 面積：校地 25,903 m ² 、校舎 5,665 m ²			
校 長 名	温 井 文 雄		教 頭 名	鹿 野 秀 一	
教 職 員 数	教員33名 養護 1名 事務 2名		学 級 数 生 徒 数	19 学級 558 名 (うち特別支援学級3学級10名)	
教 育 目 標	1 豊かな心の育成 2 確かな力の育成 3 健やかな心身の育成 4 広い視野の育成				
研 究 主 題	『基礎・基本の一層の定着を図り、確かな学力をはぐくむ授業の工夫』 ～知識の習得に重点を置いた組み立てを通して～				
特 色 あ る 教 育 活 動	1 千歳科学技術大学との連携による学習活動 (SPP) ～1年生を対象にした理科の実験授業～ 2 PTA「おやじの会」の活動 環境整備、地域との交流、研修活動 3 地域との交流、ボランティア活動 生徒会委員会による各種募金活動 地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動 吹奏楽部・合唱部の地域での演奏活動				
沿 革	昭和22年6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年6月 校歌制定 昭和26年3月 新校舎完成 (現在地) 昭和29年3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂 (兼体育館) 完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成元年4月 はまなす学級開設 平成5年1月 コンピューター教室工事完了 平成9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 8月 機械警備センサー設置 平成14年2月 安全対策整備工事完了 (玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等) 平成16年3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月 「柏葉の像」修復・塗装完了 (奈良昌美先生・同窓会協賛事業) 平成20年3月 開校60周年記念講演会 平成21年9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換 (天然ガス化) 平成22年8月 生徒用トイレ改修工事完了 9月 電子黒板配置 10月 耐震工事 (東・西・管理棟・体育館) 完了 平成23年1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了 8月 統合に係る改修工事完了 (西校舎1・2階) 11月 体育館ボイラー交換 (天然ガス化) 12月 自転車置き場増設工事完了 平成24年4月 真町中学校と統合 9月 体育館床バスケットボールコートライン改修工事完了				



北進中学校

所在：千歳市北栄1丁目2番6号
電話：0123-23-3439
創設：昭和37年4月1日
面積：校地11,341㎡、校舎2,607㎡



校長名	白川 純	教頭名	丸山 真嗣典
教職員数	教員13名	学生級数 生徒数	知的障がい 2学級 自閉症・情緒障がい 3学級 計 5学級 30名
教育目標	21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成 ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体）		
研究主題	学んだことが日常生活に生きる算数・数学科の授業を目指して —「数と計算」のつまずきを分析し、般化へのアプローチを考察—		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2 一人ひとりの発達段階に応じた教科指導の充実 （各教科におけるグループ別学習） 3 将来の社会参加を見通したキャリア活動の充実 （地域と連携した職場体験学習、作業実習、ソーシャルスキルトレーニングなど） 4 他校の児童生徒や地域の老人との交流学習 5 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿革	昭和35年5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年4月 北進小中学校として独立 昭和49年4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年4月 情緒障害学級開設 平成3年3月 開校30周年・校舎増築・新体育館完成記念式典挙行 平成14年2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校50周年・開校40周年記をお祝いする会		



青葉中学校

所在：千歳市豊里4丁目1番1号
 電話：0123-23-4147
 創設：昭和32年8月29日
 面積：校地26,028㎡、校舎6,517㎡



校長名	高橋尚夫	教頭名	小川満
教職員数	教員24名 養護1名 事務1名	学級数 生徒数	13学級 431名
教育目標	「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」 すぐれた知性（知） 豊かな情操（徳） 強じんな意志と体力（体） 主体的な行動力（生きる力） 教育課題（本年度の重点課題） 「確かな学力と豊かな心の育成」		
研究主題	確かな学力の育成 ～教えて考えさせる授業づくり～		
特色ある教育活動	■自治活動■ 挨拶運動・各種募金活動やGBクラブ・JJキャンペーン・青葉の一等星たちなどユニークな活動を展開し、自治活動の高揚に向けた取り組みを積極的に実施。また、生徒会による「いじめ撲滅宣言」の採択など、アンケートや学級・学年の取組を実施している。 ■部活動■ 年間を通じて練習試合や各種大会に積極的に参加し、技術の向上はもとより人間性の向上に努める。 ■朝読書■ 全校朝読書を完全実施して7年目となり定着期を迎えている。一日の学校生活が読書の静寂からスタートしている。		
沿革	昭和32年8月 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年1月 現在地に校舎移転 昭和50年3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成元年9月 はまなす国体軟式野球会場 平成2年12月 プレハブ校舎完成 平成5年1月 コンピューター室完成 平成6年8月 全国中体連剣道大会競技部 平成7年4月 道研情報教育協力校（2年） 平成11年8月 全道中体連卓球大会運営 平成13年12月 グランド防球ネット延長工事 平成15年11月 管内教育機器活用研究発表 平成16年5月 生徒指導総合推進事業実践校 平成18年2月 コンピューター更新 掲揚塔新設 AED設置 平成19年6月 耐震工事、大規模改修工事 10月 開校50周年式典、祝賀会 平成20年1月 2学年教室LAN工事 9月 千歳市市制50周年記念式典参加 平成21年3月 全道PTA広報誌コンクール特別賞受賞 平成22年3月 地上デジタル受信アンテナ設置 4月 穂積雅子氏凱旋報告会（バンクーバー五輪銀メダリスト） 平成23年1月 全国中体連スケート大会出場（3,000m） 8月 全国中体連陸上大会出場（女子リレー 200m） 10月 ボイラー室改修工事 平成24年12月 毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト優秀賞 平成25年2月 全国中体連スケート大会3位（女子1500m・3000m）		



東千歳中学校

所在：千歳市東丘 731 番地の 117
 電話：0123-21-3300
 創設：昭和 27 年 4 月 1 日
 面積：23,108 m²、校舎 1,985 m²



校 長 名	福 田 幸 一	教 頭 名	—
教 職 員 数	教職員 8名	学 級 数 生 徒 数	2 学級 8 名
教 育 目 標	◎確かな学力（知） ◎豊かな心（情） ◎責任ある行動（徳） ◎たくましい心身（体）		
研 究 主 題	人数規模を生かした個に応じた指導の工夫・改善・確立 ～理解の深化、教育相談、保護者との連携を基軸として～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏タイム（総合的な学習） ・ 壁新聞制作活動 ・ 地域保育所への訪問活動 ・ 学校農園作り ・ 花壇整備活動 ・ 小中合同運動会 ・ パークゴルフ大会 ・ 地域の人たちとの校外清掃 ・ 地域の人を講師に迎え、全校道徳 ・ 地域の人を講師に迎え、陶芸教室 ・ 地域の人を講師に迎え、かるた大会 ・ ボランティア活動(国際協力) 		
沿 革	<p>昭和22年 6 月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校</p> <p>昭和27年 4 月 東千歳中学校として独立</p> <p>昭和31年12月 屋内体育館完成</p> <p>昭和38年12月 東雲寮完成</p> <p>昭和45年12月 スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖</p> <p>昭和49年 3 月 校舎改築完成</p> <p>昭和51年 3 月 防音講堂（屋体）完成</p> <p>昭和57年11月 開校30周年記念式典挙行</p> <p>平成 4 年 7 月 開校40周年記念事業、パークゴルフ場完成</p> <p>平成 5 年 4 月 学校教育目標改定</p> <p>7 月 学校給食センター東千歳調理場閉鎖</p> <p>平成 6 年 9 月 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成</p> <p>平成 7 年 2 月 コンピューター教室設置</p> <p>平成19年 1 月 第 5 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞</p> <p>平成20年 1 月 第 6 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞</p> <p>平成21年 1 月 第 7 回全道壁新聞コンクール「特別賞」受賞</p> <p>平成22年 8 月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部特別賞受賞</p> <p>平成23年 1 月 第 9 回全道壁新聞コンクール 1 年生「入選」</p> <p>8 月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部特別賞受賞</p> <p>平成24年 8 月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部名誉花壇賞受賞</p> <p>12月 平成25年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 「農林水産大臣賞」受賞</p>		



駒 里 中 学 校

所在：千歳市駒里 945 番地の 6
電話：0123-23-3237
創設：昭和 31 年 1 月 1 日
面積：校地 23,108 m²、校舎 1,985 m²



校 長 名	吉 川 武 志	教 頭 名	關 口 涼
教 職 員 数	教員 6名	学 級 数 生 徒 数	2 学級 8 名
教 育 目 標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども）		
研 究 主 題	自ら学び自分の力で表現する子どもの育成 ～主体的な学びの中で、自己肯定感を高める言語活動の充実～		
特 色 あ る 教 育 活 動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動学習、農業体験学習 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた自由課題学習 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン (2) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 部活動（バドミントン）		
沿 革	昭和24年12月 千歳中学校阿字佐里分校設置 昭和29年 9 月 開校50周年記念式典 昭和31年 1 月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和32年 7 月 校旗・校歌を制定 昭和36年12月 屋内体育館落成 昭和51年 8 月 グラウンド整地工事完了 昭和55年 2 月 新校舎開設 昭和61年 6 月 小学校開校80周年・中学校開校30周年記念式典 平成 5 年10月 コンピューター室設置 平成 8 年 9 月 小学校開校90周年・中学校開校40周年記念式典 平成10年10月 全道へき地複式教育研究大会開催 平成17年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成18年 8 月 講堂外壁・屋根全面改修工事 11月 開校100周年50周年記念式典 平成20年 8 月 全道中体連バドミントン大会女子個人出場 平成21年 8 月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成22年 8 月 全国中体連バドミントン大会男子個人出場		



富丘中学校

所在：千歳市あずさ1丁目2番1号
 電話：0123-24-1188
 創設：昭和50年4月1日
 面積：校地 24,729 m²、校舎 6,190 m²



校長名	佐々木 一	教頭名	三浦 崇史
教職員数	教員27名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	16学級(うち特別支援学級1) 531名
教育目標	一、賢く 創造力豊かな生徒を育てる 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる 重点目標 『感性豊かに、夢や目標にに向かって、学び続ける生徒の育成』		
研究主題	「基礎・基本を生かし、意欲的に学習する生徒の育成」 ～教科における、言語活動のさらなる充実を目指して～		
特色ある教育活動	(1) 各学年毎の「総合的な学習の時間」 テーマ『21世紀を拓く私たち』 1年～郷土学習、2年～職場体験学習、3年～福祉学習 (2) ボランティア活動「富中プチボラ」「チャリティーコンサート」「スノーバスターズ」 地域社会に貢献する活動、また、地域社会の福祉関係と一体となった活動を通して、豊かな人間性を育てる。		
沿革	昭和50年4月 新設開校 昭和57年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典挙行 昭和60年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成元年3月 リコーダー部門重奏部門「文部大臣奨励賞」受賞 平成7年1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成13年8月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成16年3月 リコーダー部 文部科学大臣奨励賞受賞 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年8月 札幌地区吹奏楽コンクール金賞受賞 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 10月 仮設校舎設置 平成20年3月 全日本リコーダーコンテスト銀賞受賞 8月 剣道部全国大会出場 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成23年2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 3月 全日本リコーダーコンテスト参加 (東日本大震災のためコンテスト中止) 平成24年3月 分離式・離任式・修了式 8月 女子卓球個人全国大会出場 千歳市花いっぱいコンクール名誉花壇賞受賞		





北 斗 中 学 校

所在：千歳市北斗5丁目1番1号
 電話：0123-22-4151
 創設：昭和59年4月1日
 面積：校地24,729㎡、校舎6,190㎡



校 長 名	荒 木 実 千 子	教 頭 名	佐 藤 誠
教 職 員 数	教員22名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 生 徒 数	12 学級 360 名
教 育 目 標	1 思いやりの心を持ち、正しく判断できる生徒の育成 2 創造性豊かに、自ら進んで学ぶ生徒の育成 3 生命を大切に、たくましく生きる生徒の育成 4 広い視野に立ち、世界に目を向ける生徒の育成		
研 究 主 題	自立と共生の精神を育む道徳教育の推進		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動を重視した校外研修 ・職場体験学習や福祉体験学習の充実 2 生徒の自主性を育成する活動 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や部活動を中心としたボランティア活動 ・生徒会活動の活性化を図る各種強調週間の取り組み 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・北斗ふれあいサークル（地域ぐるみの子育て）活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」 		
沿 革	昭和59年4月 新設開校 7月 プール完成 昭和60年10月 全道放送研究大会・研究発表開催 校舎増築完成 昭和61年2月 校舎増築完成 平成元年11月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成2年3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成5年11月 コンピューター室設置 平成6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会第3位 平成8年6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成23年1月 全道リコーダーコンテスト金賞（東日本大震災のため全国大会中止） 8月 男子バスケットボール部全道大会第3位 平成24年1月 全道リコーダーコンテスト金賞 全国スケート大会出場 3月 全日本リコーダーコンテスト出場 9月 「北斗中防災ナイト」実施 平成25年1月 全道スケート大会出場 全道リコーダーコンテスト金賞・道新賞 2月 全国スケート大会出場 3月 全日本リコーダーコンテスト金賞・花村賞		

向陽台中学校					
		所在：千歳市若草5丁目5番地 電話：0123-28-4286 創設：昭和62年4月1日 面積：校地29,082㎡、校舎5,549㎡			
校長名	出村好孝	教頭名	北本貴史		
教職員数	教員17名 養護1名 事務1名	学級数 生徒数	10学級 296名		
教育目標	1 知性を磨き 創る人 《知》 2 広く絆を 結ぶ人 《情》 3 理想を求め 励む人 《意》 4 気高く強く 生きる人 《体》 5 すすんで道を 拓く人 《労》				
研究主題	豊かな心を持ち、主体的に考え、実践できる生徒の育成 ～心に響く道徳指導を通して～				
特色ある教育活動	1 勤労生産活動およびボランティア活動 ①地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ②資源回収活動 ③ボランティア体験活動 2 花いっぱい運動 ①学校花壇の整備と管理 3 保護者・地域の協力による文化活動 ①文化的行事（向中フェスティバル）～各種制作物の掲示、合唱発表 ②地域交流（泉沢向陽台地区文化祭への制作作品の展示や合唱での出演） 4 朝自習と朝読書活動 毎朝、始業前に全校生徒が一斉に朝自習と朝読書を行う。 5 地域の施設と人材を活用した教育活動 ① 域に住んでいる琴の師範とのTT ②地域にあるスキー場を利用しておやじの会などを中心として、地域にいるスキーの指導などの方とのTT 6 Life学習～3年間を通じたキャリア教育 1年生：地域人材を生かした職業調査 2年生：箱根牧場での農業体験 3年生：地域に根ざした職業体験学習				
沿革	昭和62年 開校式 7学級273名 平成2年 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成5年 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成6年 コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成9年 野球部全国大会出場、石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年 開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成19年 第1回「河口」発表会 平成20年 第2回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成21年 校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、職員室、教室、玄関、体育館床） 第3回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成22年 校舎大規模改修工事（体育館、職員・生徒玄関戸） 第4回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団・ピアニスト 鶴喰由美氏参加				



勇 舞 中 学 校

所在：千歳市勇舞3丁目4番2号
 電話：0123-40-0051
 創設：平成24年4月1日
 面積：校地29,082㎡、校舎5,549㎡




校 長 名	杉 本 祐 治	教 頭 名	多 田 貴 典
教 職 員 数	教員24名 養護 1名 事務 1名	学 級 数 生 徒 数	14 学級 477 名
教 育 目 標	<p>開校の理念（校 訓） きらやかに しなやかに</p> <p>学校経営の基本方針 生きる力をはぐくみ、潤いと活力に満ちた学校の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい教育の具現化をめざす学校 ○生徒一人一人がきらめき、信じ合う心が溢れる学校 ○保護者や地域に開かれ、信頼される学校 ○内発的改善力を持ち、支持的な職員風土と協働による学校 ○情熱ある人間性に支えられ、教育的力量を高め合う学校 <p>学校教育目標 瞳をきらめかせ 希望に満ちた未来を拓く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (人間力) ○高い志と確かな学力をはぐくむ (知 力) ○たくましい身体と実現する能力をはぐくむ (実践力) 		
研 究 主 題	<p>自立して学ぶ生徒を育てる授業の構築 ～ 新たな学びを生む・新たな知を拓く ～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ① 小中連携教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・北陽小との交流の充実を図る 9年間を見通した学習指導、教職員による協働指導 交流場面の充実 ～ 児童会・生徒会、部活動、授業交流など ② 学ぶ場面の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた補充学習・自学自習活動等の充実 ・ICT機器を活用した授業の充実 ・地域人材を活用した多様な活動 ③ 自ら考え行動できる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ノーチャイムの実践 ④ 環境教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの活用 ・リサイクル活動の推進 など 		
沿 革	<p>平成24年4月 開校式 13学級426名 10月 開校記念式典 ～ 校歌・学校教育目標 制定 平成25年4月 14学級477名</p>		

3 幼稚園

(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学校法人・幼稚園名	所在地	電話	認可 定員	就園 者数	預かり 保育	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	〒066-0041 千歳市清水町 4 丁目 25 番地	23-2331	120	86	○	○
千歳栄光学園 千歳第 2 幼稚園	〒066-0037 千歳市新富 1 丁目 6 番 21 号	23-3586	140	124	○	○
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	〒066-0015 千歳市青葉 5 丁目 13 番 7 号	23-3998	150	135	○	○ (週 3)
西越学園 くるみ幼稚園	〒066-0082 千歳市幸福 1 丁目 847 番地	23-4559	230	232	○	○ (週 5)
千歳学園 メリー幼稚園	〒066-0027 千歳市末広 5 丁目 1 番 6 号	23-3329	280	254	○	○ (週 2)
千歳学園 第 2 メリー幼稚園	〒066-0034 千歳市富丘 4 丁目 13 番 20 号	23-5735	310	292	○	○ (週 2)
富士学園 千歳わかば幼稚園	〒066-0039 千歳市富士 2 丁目 5 番 6 号	26-0183	170	98	○	○ (週 3)
富士学園 第 2 わかば幼稚園	〒066-0078 千歳市勇舞 1 丁目 4 番 1 号	23-2200	280	206	○	○ (週 3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	〒066-0035 千歳市高台 2 丁目 3 番 11 号	23-0203	330	301	○	○ (週 3)
つくし学園 向陽台つくし幼稚園	〒066-0057 千歳市若草 5 丁目 3 番地の 1	28-2123	210	158	○	○ (週 3)
三溝学園 北陽幼稚園	〒066-0075 千歳市北信濃 675-16	49-3100	80	34	○	○ (週 5)
合計 11 幼稚園			2,300	1,920		

4 高等学校

学 校 名 所 在 地 電 話	 <p style="text-align: center;">北海道千歳高等学校</p> <p style="text-align: center;">千歳市北栄1丁目4番1号 (電話 0123-23-9145)</p>
校 長 名	<p style="text-align: center;">橋 本 丈 則</p>
学 級 数 生 徒 数	<p>(全日制) 普通科 国際教養科 国際流通科</p> <p style="text-align: right;">計 27学級 1,066名</p> <p>(定時制) 普通科</p> <p style="text-align: right;">4学級 66名</p>
沿 革	<p>昭和23年10月30日 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可</p> <p>昭和25年3月31日 北海道月寒高等学校千歳分校となる</p> <p>昭和25年4月30日 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可</p> <p>昭和29年4月1日 道立移管</p> <p>昭和33年10月4日 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭和43年9月22日 創立20周年記念式典挙行</p> <p>昭和53年9月24日 創立30周年記念式典挙行</p> <p>昭和62年3月31日 定時制商業科閉科</p> <p>平成6年11月8日 大韓民国空港高校姉妹提携</p> <p>平成7年7月・12月 大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断)</p> <p>平成11年4月1日 国際教養科・国際流通科開設</p> <p>平成11年11月6日 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行</p> <p>平成12年9月 アメリカ合衆国ジェームズズリバー高校と相互交流開始</p> <p>平成14年3月31日 第2体育館完成</p> <p>平成15年4月1日 全日制普通科1間口減</p> <p>平成20年6月～ 平成21年2月 創立60周年記念事業 (記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成)</p> <p>平成22年9月 太陽光発電設備工事完了</p>

学 校 名 所 在 地 電 話	 <p style="text-align: center;">北海道千歳北陽高等学校</p> <p style="text-align: center;">千歳市北陽2丁目10番53号 (電話 0123-24-2818)</p>
校 長 名	<p style="text-align: center;">吉 村 恭 子</p>
学 級 数 生 徒 数	<p style="text-align: center;">全日制普通科 23学級 750名</p>
沿 革	<p>昭和48年4月1日 開校</p> <p>昭和51年7月15日 文部省教育課程研究開発校指定</p> <p>昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行</p> <p>平成4年10月18日 創立20周年記念式典挙行</p> <p>平成7年2月13日 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞</p> <p>平成14年11月9日 創立30周年記念式典挙行</p> <p>平成15年4月1日 2学期制導入</p> <p>平成16年4月1日 学校目標改訂</p> <p>平成18年4月1日 校訓制定</p> <p>平成19年4月2日 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定</p> <p>平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定</p> <p>平成21年9月14日 平成23年度よりフィールド制導入決定</p> <p>平成23年4月1日 平成23年度入学生よりフィールド制実施</p>

学 校 名 所 在 地 電 話	 <p style="text-align: center;">北海道千歳高等支援学校 千歳市真々地2丁目3番1号 (電話 0123-23-6681)</p>
校 長 名	<p style="text-align: center;">宮 崎 真 彰</p>
学 生 数 級 数 徒 数	<p>(全日制) 環境・流通サポート科 生活技術科 計 3学級 27名</p>
沿 革	<p>平成25年4月1日 開校</p>

5 大学・専修学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 <p>千歳科学技術大学</p>	<p>〒066-8655 千歳市美々758 - 65 (電話0123-27-6001)</p>	<p>■総合光科学部 240名 バイオ・マテリアル学科 光システム学科 グローバルシステムデザイン学科</p> <p>■大学院 光科学研究科 光科学専攻 博士前期課程20名 博士後期課程 3名</p>
 <p>日本航空専門学校</p>	<p>《千歳キャンパス》 〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話0123-28-1155)</p> <p>《白老キャンパス》 〒059-0904 白老町東町2丁目1番5号</p> <p>《能登空港キャンパス》 〒929-2372 石川県輪島市 三井町洲衛9部27番地7</p>	<p>《千歳キャンパス》</p> <p>■航空整備科 3年制 126名(男女) 一等航空運航整備士コース(B767) 二等航空整備士コース/二等航空運航整備士コース/システムコース/技術コース</p> <p>■空港技術科 2年制 80名(男女) グラウンドハンドリング</p> <p>《白老キャンパス》 40名(女子)</p> <p>■国際航空ビジネス科 2年制 ■国際航空ビジネス科 3年制 ハワイ語学研修専攻コース</p> <p>《能登空港キャンパス》</p> <p>■航空工学科 4年制 40名(男女) ■航空整備科 3年制 40名(男女) 一等航空運航整備士コース(YS-11) 航空機整備訓練課程コース</p> <p>■航空整備技術科 2年制 40名(男女) ■航空ビジネス科 2年制 40名(男女) ■航空ビジネス科 2年制 語学研修専攻コース 3年制 ■操縦科 2年制 10名(男女)</p>
 <p>北海道千歳リハビリ テーション学院</p>	<p>〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話0123-28-5331)</p>	<p>■昼間部・3年課程 理学療法学科 80名 作業療法学科 40名</p>

[4]就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(1) 学用品費等援助

(単位：人、円)

区分	年度	平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		平成 24 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	993	14,039,121	1,026	14,311,458	1,011	14,198,357	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	316	3,676,550	317	3,699,090	318	3,639,980	
	新入学児童生徒学用品費等	154	3,064,600	134	2,666,600	133	2,646,700	
	修学旅行費	191	3,297,532	178	3,089,509	177	3,089,700	要保護を含む
	校外活動費	184	406,967	162	366,812	176	443,224	宿泊学習
	学校給食費	967	44,477,880	1,026	45,402,740	1,010	44,981,900	
	計	-	68,962,650	-	69,536,209	-	68,999,861	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	566	14,126,480	604	14,804,512	579	14,434,548	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	135	4,900,500	158	6,027,400	181	5,497,300	
	新入学児童生徒学用品費等	179	4,099,100	189	4,328,100	174	3,984,600	
	修学旅行費	191	11,687,204	251	16,207,953	142	8,934,489	要保護を含む
	校外活動費	146	847,371	131	389,713	191	834,865	宿泊学習
	学校給食費	561	29,696,070	600	31,092,505	578	30,220,810	
	計	-	65,356,725	-	72,850,183	-	63,906,612	
合計	-	134,319,375	-	142,386,392	-	132,906,473		

(2) 医療費援助

(単位：人、円)

年度 区分		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		平成 24 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	要保護児童	55	448,840	23	448,840	62	673,050	
	準要保護児童	222	162,690	873	162,690	1,325	3,018,090	
	計	277	611,530	896	611,530	1,387	3,691,140	
中学校	要保護生徒	19	657,422	45	657,422	37	507,030	
	準要保護生徒	48	156,497	254	156,497	319	814,160	
	計	67	813,919	299	813,919	356	1,321,190	
合 計		344	1,425,499	1,195	1,425,499	1,743	5,012,330	

2 特別支援教育助成

(1) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(単位：人、円)

区分	年度	平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		平成 24 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	54	358,012	51	299,626	52	306,225	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	21	202,515	17	179,975	12	116,725	
	新入学児童生徒学用品費等	11	109,450	7	69,650	9	89,550	
	修学旅行費	8	77,320	7	72,100	5	42,900	
	校外活動費	14	4,074	-	-	4	4,209	宿泊学習
	学校給食費	53	1,200,670	51	1,144,340	52	1,122,645	
	通学費	77	475,061	85	556,675	82	554,740	
	計	-	2,682,588	-	2,322,366	-	2,236,994	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	38	449,304	39	447,130	38	444,428	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	21	381,150	8	145,200	8	145,200	
	新入学児童生徒学用品費等	21	240,450	8	91,600	8	91,600	
	修学旅行費	6	167,100	10	278,500	20	511,268	
	校外活動費	3	8,760	-	-	3	8,760	宿泊学習
	学校給食費	37	982,547	38	1,030,530	37	976,827	
	職場実習・交流学习交通費	21	8,820	18	10,960	11	3,960	
	通学費	11	137,065	6	75,189	4	95,456	
	計	-	2,213,196	-	2,079,109	-	2,277,499	
合計	-	4,895,784	-	4,401,475	-	4,514,493		

(2) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

(単位：人、円)

年度 区分		平成 22 年度実績		平成 23 年度実績		平成 24 年度実績		備 考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	特別支援学級	139	4,713,000	141	4,716,000	136	4,311,000	
	特別支援学校等	10	580,000	8	480,000	11	550,000	
	計	149	5,293,000	149	5,196,000	147	4,861,000	
中学校	特別支援学級	56	2,612,000	58	2,704,000	59	2,824,000	
	特別支援学校等	9	618,000	13	786,000	13	762,000	
	計	65	3,230,000	71	3,490,000	72	3,586,000	
合計		214	8,523,000	220	8,686,000	219	8,447,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(1) 資格要件

- ア 千歳市内に住所を有すること
- イ 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- ウ 学資に乏しいこと
- エ 学業優良及び素行善良であること

(2) 奨学金額

区分	対象	金額
高校生等	高等専門学校生（1年生から3年生）	月額7,000円以内
	高校生	
	専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）	
大学生等	大学生（短期大学含む）	月額10,000円以内
	高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科）	
	専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）	

(3) 奨学基金現在高

62,694,500円(平成25年3月31日現在)

(4) 支給実績

(単位：人、円)

年度 区分	23年度			24年度		
	応募者	受給者	支給金額	応募者	受給者	支給金額
高校生	65	30	2,520,000	68	45	3,780,000
大学生	28	20	2,400,000	32	20 (※19)	2,330,000
合計	93	50	4,920,000	100	65	4,110,000

※H24年度は1名、9月交付分より休止（市外転居のため）

4 私立幼稚園助成

(1) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助しています。

(24年度実績)

対象園児数	補助金交付額
1,880人	10,340,000円

(2) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助している。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としています。

(24年度実績) 実績なし

区分	対象幼稚園	補助金交付金額
新築	—	—
増築	—	—
改築	—	—

(3) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

(24年度実績)

対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
3園	6人	300,000円

(4) 私立幼稚園連合会研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員1人当たり5,500円を限度として補助しています。

(24年度実績)

参加教員数	補助金交付額
103人	237,735円

(5) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

(24年度実績)

就園奨励費	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	1,743人	165,902,700円
2歳児受入	121人	8,210,500円

[5]学校保健

1 児童生徒の体位

(平成 24 年度)

			身長 cm		体重 kg		座高 cm	
			男	女	男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	116.3	115.6	21.6	20.8	64.5	64.2
		全道	117.0	115.9	21.7	21.0	64.9	64.4
		全国	116.5	115.6	21.3	20.9	64.8	64.4
	7歳	千歳市	122.4	121.6	24.2	23.6	67.5	67.4
		全道	122.9	121.8	24.7	23.6	68.0	67.3
		全国	122.4	121.6	24.0	23.5	67.6	67.3
	8歳	千歳市	128.1	127.5	27.5	27.0	70.0	69.8
		全道	128.6	127.4	27.9	26.6	70.5	69.9
		全国	128.2	127.4	27.1	26.3	70.3	69.9
	9歳	千歳市	133.6	134.3	30.5	30.8	72.3	72.7
		全道	134.2	134.1	31.7	30.4	72.9	72.8
		全国	133.6	133.4	30.5	29.9	72.6	72.6
	10歳	千歳市	138.7	140.9	34.4	35.7	74.5	76.1
		全道	140.5	140.4	36.5	34.4	75.7	75.8
		全国	138.9	140.1	34.0	34.0	74.9	75.8
11歳	千歳市	144.8	146.7	38.7	39.3	77.2	78.9	
	全道	146.0	147.3	39.6	39.6	78.1	79.2	
	全国	145.0	146.7	38.2	38.9	77.5	79.2	
中学生	12歳	千歳市	153.1	151.8	45.1	44.5	81.2	82.1
		全道	153.7	152.4	46.4	44.5	82.0	82.2
		全国	152.4	151.9	44.0	43.7	81.3	82.2
	13歳	千歳市	161.9	155.2	50.8	47.4	84.7	83.9
		全道	161.2	155.0	51.2	48.3	85.9	84.0
		全国	159.5	155.0	49.0	47.4	84.9	83.9
	14歳	千歳市	165.9	156.9	55.0	50.7	88.2	84.8
		全道	166.1	157.1	56.6	50.9	88.8	85.0
		全国	165.1	156.5	54.2	49.9	88.2	84.9

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

給付実績

(単位：件数)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
平成 22 年度	小学校	104	73	66	66	309
	中学校	128	123	157	136	544
	計	232	196	223	202	853
平成 23 年度	小学校	99	75	68	84	326
	中学校	145	134	138	129	546
	計	244	209	206	213	872
平成 24 年度	小学校	111	94	96	104	405
	中学校	165	215	199	166	745
	計	276	309	295	270	1,150

[6]学校給食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター	
所在地	千歳市流通3丁目1番地の11
電話	0123-23-3591 FAX 23-3599
開設	平成5年8月
建築構造	鉄骨造2階建
敷地面積	8,995.46 m ²
建物面積	2,660.25 m ²



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パンまたは麺類2回）の給食を提供しています。現代の食生活における問題点は、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題が生じていることです。

なお、食材については、平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用しており、また、平成22年4月からは、角食及び丸パンの原材料である小麦に千歳産を使用するなど、「地産地消」に努めています。

学校給食は、家庭における食事と相まって、成長期にある児童生徒が1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食栄養基準」に基づき、献立を作成しています。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所属団体	氏名
勇舞中学校長	杉本 祐治
緑小学校長	杉本 功
向陽台小学校長	西野 典男
高台小学校教頭	今村 敏之
保護者	橋本 純子
保護者	荒井 由紀恵
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	後藤 みちよ
千歳消費者協会	中村 千代子
保健福祉部健康推進課長	林 博樹

(平成25年4月1日現在)

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員	週3回
26	17	9	8,778	5,560	2,699	519	

(平成25年5月1日現在)

5 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費(円)		年間給 食回数
					月額	年間	
小学校(低)	69.40	131.77	39.83	241.00	3,720	44,640	185回
小学校(高)	74.03	145.14	39.83	259.00	4,000	48,000	
中学校	78.67	177.50	39.83	296.00	4,570	54,840	

6 栄養基準

		エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				
						レチノール (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)	
小学校	低学年	学校給食基準量	585	22.0	325	2.50	160	0.35	0.40	20
		千歳市の献立	655	27.0	322	2.40	299	0.59	0.52	22
	高学年	学校給食基準量	695	26.0	375	3.50	185	0.45	0.45	23
		千歳市の献立	689	28.4	329	2.50	320	0.63	0.53	24
中学校	学校給食基準量	820	30.0	450	4.00	300	0.50	0.60	35	
	千歳市の献立	794	31.9	352	2.90	348	0.68	0.70	26	

[7]生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

(1) 青少年課における相談業務対応種別件数

(単位：件)

相談種別	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
電話で対応した相談	55	93	+38
来訪で対応した相談	154	128	-26
訪問で対応した相談	0	2	+ 2
その他の方法で対応した相談	5	63	+58
合 計	214	286	+72

※相談内容は、不登校（34 件）、学校生活（30 件）、問題行動（17 件）家庭生活（17 件）、いじめ（2 件）その他（1 件）となっている。

※保護者からの相談が 74%を占めている。

※その他の方法で対応した相談については、学校や関係機関との調整した相談件数。

(2) スクールカウンセラー配置状況

児童生徒の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、専門的な知識に基づく指導・助言ができる、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

平成 25 年度スクールカウンセラー配置校

- ① 北海道スクールカウンセラー：千歳中、北進中、青葉中、富丘中、北斗中
向陽台中、日の出小、北陽小

※平成 25 年度より配置校：駒里中、勇舞中

- ② 千歳市スクールカウンセラー：千歳第二小、信濃小、高台小、泉沢小

※平成 24 年度より配置校：桜木小

- ③ スクールカウンセラーによる教育相談：教育委員会青少年課相談室において月 2 回実施

(3) 心の教室相談員配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校 13 校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みやストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。

平成 25 年度心の教室相談員配置校

千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小

2 不登校児童生徒について

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室（「おあしす」）への通級を働きかけています。

(1) 不登校児童生徒数

（病気・けが以外で1カ月に14日以上休んだことが1回でもあった児童生徒）

（単位：人）

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
小学校	11	10	－ 1
中学校	94	76	－ 18
計	105	86	－ 19

※長期欠席は小学校が1名減少、中学校は18名の減少となった。

(2) 適応指導教室「おあしす」について

① 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

② 指導の方針

ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。

イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。

ウ 家庭や在籍校、各関係機関（子育て推進課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

③ 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適應によって、不登校の状態にある児童生徒。

④ 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

（単位：人）

	平成 23 年度	平成 24 年度
小学校	3	0
中学校	34	22
計	37	22

⑤ 開設時間

・月～木 9：30～14：30

・金 9：30～12：00

⑥ 活動内容

ア 個別活動：児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。

イ 学習時間：個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。

ウ マイタイム：「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。

エ 集団活動：児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3 いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

各学校においては、いじめ対応マニュアルに基づき、いじめの問題に対して取組を進め、全市的には、子ども達や父母、地域住民、教育関係者等が一体となって取組む行事として、平成9年度から、なかよしさわやかDAYいじめシンポジウムを開催しています。

※平成24年度 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム開催状況

日 時：平成24年12月1日（土）9：20～11：50

会 場：千歳市民文化センター中ホール

参加者：445名

(1) 文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果

(単位：件)

	平成22年度	平成23年度	増減
いじめ	32	9	-23

4 各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

(1) 一般事故・交通事故の状況

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	増減
交通事故	17	8	-9
一般事故	12	6	-6

※交通事故が、減少傾向にある。

(2) 非行事故件の状況

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	増減
小学校	14	10	-4
中学校	31	16	-16
計	45	26	-20

※小学校においては、集団による万引き(お菓子)の報告が多い。

※中学校においては、万引き・飲酒・喫煙の報告が多い。

5 児童生徒の安全確保

(1) 不審者・不審電話件数

(単位：件)

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
不審者	24	39	+15
不審電話	2	2	0

(2) 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やPTAの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

(単位：人)

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
見守り隊員数	1,069	1,038	-31

(3) 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼びかけ、「子ども110番の家」を設置しています。

(単位：件)

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
登録件数	1,085	1,110	+15

6 青少年指導件数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導件数

(単位：件)

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減
未就学	0	0	0
小学生	14	6	-8
中学生	52	30	-22
高校生	140	128	-12
その他学生	4	0	-4
有職少年	5	0	-5
無職少年	0	2	+2
成人	0	0	0
合計	215	166	-49

※指導内容は、自転車の二人乗りが130件と最も多く、次いで川遊び13件、信号無視4件、喫煙2件、その他17件となっている。

VI 社会教育

[1]生涯学習・社会教育の主な施策

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・「千歳学出前講座」による自主的学習活動支援・市民活動交流センター「ミナクール」運営団体との連携強化による「まちづくり」の人材や団体の育成と活動の支援・「放課後子ども教室」や「学校支援地域本部事業」による地域活動の支援
社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none">・「市民教養セミナー」、「若返り学園」、「高星大学」、「高星大学大学院」等の生活に密着した学習機会の提供・子どもの発達段階に応じた育児知識の習得や情報交換の場、家庭教育に関する男性の意識向上を図る機会等の提供
市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実	<ul style="list-style-type: none">・スポーツセンターのリニューアル事業の推進と文化センターの設備更新による機能の向上
多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none">・文化センターや市民ギャラリーにおける催事の開催により、文化・芸術に触れる機会の提供・文化活動の担い手となる文化芸術活動団体・サークルの育成と活動支援・文化意識を高めていくため、活動成果を発表する機会の充実
文化財の保護と継承	<ul style="list-style-type: none">・国指定史跡「キウス周堤墓群」の保存・活用に向けた取組及び構成資産として世界遺産登録を目指す共同事業の推進・千歳の歴史・文化に直に触れて学び、文化財の大切さを理解する機会の提供・市指定無形民俗文化財の郷土芸能やアイヌ文化の伝統芸能・工芸技術の保存と次世代への継承活動の支援
地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成	<ul style="list-style-type: none">・市民が気軽に参加できる各種スポーツイベントや教室の充実・スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・各界のプロ選手などを招いて、「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」を開催するなど、子どもたちのスポーツ活動の支援
思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	<ul style="list-style-type: none">・「子ども活動支援センター」を活用し、青少年が地域の中で健やかに育つ環境づくりや、体験学習機会の充実を図るため、ものづくりや科学実験といった「チャレンジ教室」の実施・「道の駅サーモンパーク千歳」の再整備と連動しながら、「千歳サケのふるさと館」の魅力ある施設に向けての支援

[2]社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏名	所属団体
浜 一 穂	泉沢向陽台スポーツクラブ
釣 晴 彦	千歳市退職校長会
高 橋 尚 夫	千歳市校長会
佐々木 一	千歳市校長会
吉 村 恭 子	北海道千歳北陽高等学校
長谷川 誠	千歳科学技術大学
五十嵐 隆 子	千歳市女性団体協議会
荒 井 由紀恵	千歳市PTA連合会
駒 谷 至	千歳市文化団体連絡協議会
開 発 治	(財)千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
尾 本 則 子	千歳市子ども会育成連合会
北 原 三津代	みんなで、ひと・まちづくり委員会
三 上 幸 男	千歳市スポーツ推進委員協議会
和 田 裕 美	公民館教室

(平成25年7月1日現在)

2 公民館運営審議会委員

氏名	所属団体
浜 一 穂	泉沢向陽台スポーツクラブ
釣 晴 彦	千歳市退職校長会
佐々木 一	千歳市校長会
五十嵐 隆 子	千歳市女性団体協議会
荒 井 由紀恵	千歳市PTA連合会
駒 谷 至	千歳市文化団体連絡協議会
開 発 治	(財)千歳市体育協会
河 村 慶 昭	千歳市町内会連合会
尾 本 則 子	千歳市子ども会育成連合会
和 田 裕 美	公民館教室

(平成25年7月1日現在)

[3]生涯学習・社会教育の対象

平成25年4月1日現在、千歳市の人口は94,172人で、年齢別人口構成は、年少人口（0～14歳）が13,833人で14.7%、生産年齢人口（15～64歳）が62,661人で66.5%、老年人口（65歳以上）が17,678人で18.8%（平均年齢41.5歳）となっており、人口構成比が若いのが特徴です。

また、民間事業所のほか、自衛隊や官公庁に勤める人が多いことから、全国各地と毎年6,000人程度の人口移動（転出入）があります。

このような道内他都市には見られない特有の人口形態のなかで、本市の社会教育は展開されています。

[4]社会教育事業（平成24年度）

事業名	開催月日	会場	対象	趣旨
ママさん教室	①5月～7月 ②9月～11月	市民文化センター等	母親と乳幼児親子58組	子育て中の母親たちを対象に、子供の発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供し、地域ぐるみで子育てを行うために支援する人材を育成・活用する。
思春期子育てセミナー	①11月15日 ②2月6日	市民文化センター	市民443名	思春期や思春期を迎える子を持つ親を対象に、親としてのあり方等について学習する機会を提供。
男性の子育て講座	①8月4日 ②3月2日	市民文化センター等	父親（男性保護者）と子ども43組	講義や実践を通じて、父親としてのあり方や子どもとの関わり方について考える機会を提供し、男性の家庭教育への参画促進を図る。
家庭教育セミナー	12月15日	市民文化センター	市民172名	子育て中の親に限らず、多くの市民に、地域ぐるみで子育てを支援することの大切さについて考える機会を提供し、地域における家庭の教育力向上を図る。
チャレンジ教室	体験教室8回 出前講座8回	教育委員会 会議室等	小・中学生711名 (うち出前講座518名)	ものづくりなどを通しての体験活動の機会を提供する。併せて、地域ぐるみで子どもの育成をしていくために子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市 青少年相互交流事業	8月4日～ 8月7日 12月22日～ 12月25日	千歳市⇄ 鹿児島県指宿市	小学校6年生16名	未来ある子供達の交流を通して姉妹都市の友好関係が発展するよう相互交流を行う。
子ども活動支援センター	通年	教育委員会 生涯学習課内	ボランティア登録者4名	青少年の奉仕活動・体験活動の機会充実を図るため、情報提供やコーディネートを行い青少年活動の推進を図る。
市民教養セミナー	5月～3月 年6回	市民文化センター	市民997名	社会環境の変化に対応し、市民の学習ニーズに応え、自主的に取組めるよう、学習機会を提供する。
パソコン講習会	5月～3月 年43講座	市民ギャラリー IT講習室	市民296名	情報化に積極的に対応していけるようパソコンの操作技術の習得機会の提供を、市民団体との協働により実施する。

事業名	開催月日	会場	対象	趣旨
千歳学出前講座	493件	公共施設等	市民等 5名以上の団体 17,953名	市民と市民の学びあいによる学習機会の充実や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働して生涯学習によるまちづくりを推進する。
千歳市若返り学園	5月～3月	市民文化センター等	60歳以上の市民 409名	明るく健やかに豊かで生きがいのある生涯を送るために必要な学習機会を提供する。
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	市民文化センター等	60歳以上の市民44名	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。
英語暗唱コンテスト	10月28日	総合福祉センター	中学生以上 50名	一番身近な外国語である英語を通じて、国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成する。
英会話教室	2月～3月	総合福祉センター	18歳以上 32名	
フレンドリーコンサート 千歳合唱祭	7月29日	市民文化センター	市内合唱団体 10団体216名	合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図ると共に、市民へ芸術鑑賞機会を提供する。
千歳市民文化表彰	11月5日	ホテルグランテラス 千歳	2個人	市の文化の向上・振興を図るために、顕著な功績があった個人・団体等を表彰する。
はたちのつどい	1月14日	市民文化センター	新成人 参加者711名 対象者1,196名	新成人の門出を祝い、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機とする。
社会教育関係団体・ 人材バンク登録 及び情報提供事業	通年		市民 348登録団体	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体や指導者を登録し情報提供する。
放課後子ども教室 推進事業	6月～3月 毎週水曜日 年40回	北栄小学校	北栄小学校 在籍登録児童 133名	放課後の子どもたちの安全で安心した活動場所を確保し、地域住民による支援のもと、学習やスポーツ・文化活動の実施、また、学年や世代を超えた交流の機会を提供する。

[5]文化財

1 施設概要

千歳市埋蔵文化財センター

所在地 千歳市長都 42 番地の 1

面積 1,750 m²

開館 平成 22 年 4 月 1 日

主要施設 常設展示室、企画展示室、レクチャールーム、体験学習室

常設展示の見学 月曜～金曜日（祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）及び毎月第 2 日曜日の午前 9 時から午後 5 時まで、無料



千歳市埋蔵文化財センター

2 沿革

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成 25 年 4 月までに 286 遺跡にのぼり、国指定史跡 2 カ所、重要文化財 3 件、市指定史跡 1 カ所、有形文化財 3 件があります。

埋蔵文化財以外では、近世から現代までの歴史、文化を伝える市指定有形文化財 3 件、無形文化財 1 件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財 1 件が指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

千歳市埋蔵文化財センターは、文化財の保護と活用の拠点施設として、平成 22 年 4 月、旧長都小中学校を利用して開館しました。遺跡からの出土品が市民に公開されています。

3 国指定史跡

(1) ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越(昭和 54 年 5 月 23 日指定) 管理団体：千歳市

市街地から約 5km、支笏湖に向かう途中に、名水百選に選ばれた湧水を源とする内別川が流れています。全長わずか 2.5km の小さな川ですが、約 7,000 年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めました。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る 21 カ所の遺跡を中心に 146ha に及ぶ広大な範囲が史跡として保護されています。



ウサクマイ C 遺跡見学コース入口

しゅうていぼぐん
(2) キウス周堤墓群 千歳市中央(昭和54年10月23日指定) 管理団体：千歳市

中央地区には、約3,200年前の縄文時代後期に造られたお墓を見ることができます。地面を丸く掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、内側を墓地にしています。周囲に堤があることから「周堤墓」と呼ばれ、全部で8基あります。一番大きなものは土手の直径が75mに及び、仮に1人が1日1×1×1mの穴を掘ったとして、25人でおよそ4カ月かかることになります。

指定面積は約5万㎡、地表面から確認できる日本一大きな縄文時代のお墓です。



キウス周堤墓群 (1号周堤墓)

4 国指定重要文化財

どうぶつがた どせいひん
(1) 動物形土製品 昭和51年美々4遺跡出土 市所有(昭和54年6月6日指定)

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長31.5cm、最大幅16.2cm、最大厚9.8cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約2,500年前の縄文時代晩期に作られたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

どめん
(2) 土面 昭和61年ママチ遺跡出土 国所有(昭和63年6月6日指定)

ママチ川のほとりで発掘した約2,300年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさであり、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたと考えられています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。



動物形土製品



土面

(3) 北海道美々8 遺跡出土品 千歳市美々(平成 17 年 6 月 9 日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8 遺跡(低湿部)の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする 1,164 点の出土品です。出土品は北海道立埋蔵文化財センターに保管され、一部が展示されています。

5 国指定重要無形民俗文化財

(1) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会(平成 6 年 12 月 21 日構成団体に指定)

アイヌとはアイヌ語で「人間」という意味を持つ言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤイサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。



6 市指定文化財

かまかじんじゃべんざいてんみずし

(1) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 有形文化財 千歳神社所有

(昭和 46 年 9 月 16 日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きなくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並 山田鯉兵衛嘉充(やまだりへえよしみつ)が箱館奉行の羽太正頼(はぶとまさやす)に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに記されています。

埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。



釜加の厨子(表)



厨子背面に書かれた由来文

(2) ^{わらびてとう}蕨手刀 有形文化財 市所有(昭和55年7月21日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。写真は、漆塗り鞘に入った状態で発見された大変珍しい一振りで、刀の長さは推定56cm。柄の部分の形に特徴があり、春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。

この型の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から数多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。写真の刀と鞘は埋蔵文化財センターに展示しています。



蕨手刀

(3) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758番地 市所有(昭和52年4月23日指定)

およそ1万2千年前、粘土を焼いて作った器「縄文土器」が作られるようになりました。当時は、やや寒冷な気候でしたが、その後、次第に温暖化が進み、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなりました。

その結果、海岸線は平野の奥まで入り、千歳では美々駅のあたりまでが海でした。それは、現在の苫小牧の海岸から17kmも内陸になります。

暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入江ができて良い漁場となりました。

美々では約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径4m、高さ1.2mも積み上げた貝塚を残しています。昭和51年より公開展示しています。



美々貝塚

(4) 磨製石棒 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

キウス4号周堤墓のお墓から見つかった石の棒。全長57cm、重さ710gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。約3,200年前の縄文時代後期に作られたもので、現在は埋蔵文化財センターに展示しています。



磨製石棒

どぐう
(5) 男性土偶 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった板状の人形(=土偶)。全長14.5cm、厚さ0.9cm。縄文時代晩期に作られたと考えられており、眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。

埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶

えきていかんぼん
(6) 駅通看板 有形文化財 個人所有(昭和52年4月23日指定)

明治5(1872)年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月6回ずつ郵便物を運んでいました。

当時、千歳で郵便局(郵便取扱所)となったのが、新保旅館であり、当時を伝える縦120cm、横94cmの看板が大切に保存されています。



駅通看板

いずみさと
(7) 泉郷獅子舞 無形文化財 泉郷獅子舞保存会(昭和54年10月25日指定)

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20(1887)年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたと言われています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年9月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかきたてています。



泉郷獅子舞

(8) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会

(平成5年5月20日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカ_ラやウ_エペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル(刺しゅう)・チタル_ルペ(ゴザ編み)などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

歌と踊り：ホリツパ(輪踊り)・ハラ_ルキ(鶴の舞)・ヤ_イサマ(即興の歌)・ウポポ(座り歌)

語　　り：ユカ_ラ(神謡・口承の英雄・神話伝説)・ウ_エペケレ(昔話)

祭　　祀：カムイノミ(神様を迎える儀式)・イチャ_ルパ(先祖の慰霊祭)

工芸技術：イナウケ(イナウ作り)イクパシイ作りなどの男に伝わる技術
チタル_ルペ(ゴザ)・刺繍やマタン_プシ(鉢巻)作りなど女に伝わる技術

料　　理：シト(団子)・シケ_レペ(キハダの実の料理)など



模様入りのチタル_ルペ・刺繍が施された着物とマタン_プシ



アシリチェップノミにつくられたヌサ(祭壇)

やませんてつきょう

(9) 山線鉄橋 有形文化財 市所有(平成 11 年 8 月 24 日指定)

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられました。大正12（1923）年に、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されていました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。



山線鉄橋

遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	末広遺跡 (410年前) フレドイヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
江戸	アイヌ	
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅堅穴遺跡
奈良	続縄文	蕨手刀 (1,300年前) ふ化場1遺跡 ママチ高台遺跡
古墳		
弥生		
縄文時代	晩期	(2,300年前) ママチ遺跡、梅川3遺跡 男性土偶、土面 動物形土製品
	後期	キウス周堤墓群、石棒 丸子山遺跡環壕
	中期	イヨマイ6遺跡
	前期	美々貝塚
旧石器時代	早期	(10,000年前) メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡 (20,000年前) 柏台1遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡

末広遺跡



擦文時代の堅穴式住居跡が102軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶



蘭越の内別川右岸のウサクマイ A 遺跡付近から見つかった板状の人形 (=土偶) です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。



美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ (山の神 = ヒグマ) の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。



キウス周堤墓群

縄文時代後期末（約3,200年前）の集団墓地で、7基がまとまっています。最大のものは外径75m、内径34m、土手の高さが5.4mもあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。



磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは57cmあります。両端に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



祝梅下層遺跡

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下2mで発見された丸木舟です。長さ7.3m、幅50cmで堆積した地層から18世紀以前のものとわかります。



[6]社会教育施設

1 千歳市立図書館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町2196番地の1	電話0123-26-2131
開設	昭和63年2月1日	
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄筋鉄骨コンクリート造併用構造 地上2階地下1階	
敷地面積	13,062.08㎡	
建築面積	2,233.87㎡	
延床面積	1階	2,130.25㎡
	2階	380.14㎡
	地階	305.19㎡
	合計	2,815.58㎡



(2) 沿革

昭和25年6月に札幌C I E（札幌民間情報教育局）図書館千歳分館として図書2,100冊の寄贈を受け発足しました。29年、千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となりました。その後、46年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体や個人から数多くの図書が寄贈され、図書室はめざましく充実し、その結果、51年4月に待望の市立図書館が誕生しました。53年から図書館分室を3か所設置（平成6年度閉室）しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加によって狭くなり、現在の場所に新築することが決定しました。60年度基本設計・実施設計を経て、61年7月に工事着工、62年11月竣工し、63年2月に開館し、平成6年4月には待望の移動図書館車「ブックくん」が運行を開始しました。同21年4月からは、2代目の「ブックくん」が運行し、現在は市内41か所のステーションを巡回しています。

インターネットの普及により、13年1月に図書館ホームページを開設しました。16年4月に開設した千歳駅市民サービスセンターにおいて図書の取次ぎを開始し、翌17年2月には3支所においても図書の取次ぎを、同年4月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。

19年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は、株式会社山三ふじやです。20年5月に千歳市出身の作家「畔柳二美」の資料常設展示コーナーを、22年7月に郷土史家「長見義三」の資料常設展示コーナーを開設しました。

25年5月からは、市の受託事業として市内小中学校に図書館司書を派遣し、学校図書館の管理・運営を支援しています。

(3) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

(4) 事業実績(24年度)

事業名	開催月日	入場者(参加者)数
上映会	4月～3月 (24回)	209人
古典文学読書会	4月～3月 (24回)	247人
乳幼児読書普及事業	4月～3月 (12回)	665人
おはなし会 (5団体)	4月～3月 (86回)	1,460人
市民読書グループ支援	毎週火曜日 (45回)	296人
童話創作講座	6月～11月 (5回)	62人
子育て総合支援センター読み聞かせ	4月～3月 (12回)	412人
手作り絵本教室	7月 (5回)	71人
こどもの読書週間記念事業	5月12日	160人
こども読書推進事業	8月5日、12月23日	244人
千歳市民文芸合評会	11月13日	13人
荒川洋治氏講演会	9月8日	80人
ふるさとポケット協賛事業 (2事業)	9月15日	637人
読書スタンプラリー	7月～12月	180人
読書週間記念事業	10月27日	52人
図書館まつり	1月26日	145人

(5) 利用案内

ア AV コーナーは、LD や DVD・CD を主体とし、音と画像、映像による資料を個人で視聴できます。収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で11,412タイトルを所蔵しています。

イ AV 室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事（講演会、映画会、おはなし会等）を行う部屋で、収容人員は約100名。

ウ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架を配置し、12万冊を収蔵しています。

エ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー（小学校高学年、中学生向）、閲覧席、軽読書席、書架、おはなしコーナー（読み聞かせ、紙芝居等）があり、4万冊を収蔵しています。

オ 新聞・雑誌コーナーは、軽読書のコーナーで新聞、雑誌、パンフレット等を設置。

カ 閉架書庫は10万冊を収蔵しており、書架はスチール製移動書架を設置しています。

キ 会議室は、読書会等の主催事業、来客用応接室に設置され、収容人員は約60名。

(6) 図書状況

24年度	開館日数	貸出人数	一日平均貸出人員	貸出冊数	一日平均貸出冊数	登録者数	市民一人当たり貸出冊数
	336	126,248	376	701,710	2,088	1,982	7.50

(7) 蔵書冊数

24年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,712	7,746	19,878	31,141	18,469	17,895	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	7,098	19,370	4,148	107,855	11,412	38,142	

(8) 分類別貸出冊数

24年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,322	21,728	31,870	38,909	35,685	88,744	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	16,488	45,947	7,020	238,519	7,198	163,280	

2 千歳市立千歳公民館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 176 番地の 3	電話 0123-23-2740
開設	昭和 46 年 4 月 10 日	
建築構造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階	
敷地面積	2,930.50 m ²	
建築面積	750.44 m ²	
延床面積	1,573.88 m ²	
会議室	5 室 23.46 m ² ～68.40 m ²	
和室	1 室 44.40 m ²	
講習室	1 室 54.00 m ²	
大集会室	1 室 526.93 m ²	



分 館

分館名	延面積	開館年月日	備考
泉郷分館	353.16 m ²	昭和 24. 04. 10	S54 増築
協和分館	108.54 m ²	昭和 24. 10. 01	S48 改築
長都分館	358.02 m ²	昭和 25. 05. 10	S59 増築
新川分館	215.30 m ²	昭和 28. 08. 18	H16 新川連合会館新築
中央分館	609.87 m ²	昭和 30. 11. 01	H11 コミセン併設
幌加分館	124.21 m ²	昭和 36. 11. 01	S56 改築
根志越分館	223.56 m ²	昭和 37. 09. 24	S55 改築
東丘分館	149.85 m ²	昭和 37. 11. 01	S57 改築
釜加分館	608.68 m ²	昭和 38. 03. 01	H9 コミセン併設
駒里分館	268.92 m ²	昭和 43. 10. 01	S63 増築
長都開拓分館	169.29 m ²	平成 07. 04. 01	

(2) 沿革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。

37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月に現在地に新築開館し、現在に至っています。平成20年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益社団法人千歳市シルバー人材センターです。

(3) 運営方針

- ア 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
 - ・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
 - ・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- イ 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
 - ・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
 - ・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- ウ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
 - ・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
 - ・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況(平成 24 年度)

	昼間教室		夜教室		
	教室名	人員(名)	教室名	人員(名)	
千歳公民館	太極拳	35	フラメンゴ	9	
	実践英会話	22	ヨガ入門	34	
	フォークダンス	16	フラダンス	9	
	やさしい英会話	20	英会話中級	18	
	パソコン応用	11	英会話初級	20	
	アトマナンド・ヨガ入門	30	タップ	16	
	パソコン入門	18	きもの着付	13	
	囲碁	20	パソコン入門	9	
	リンパセラピー	19	茶道(後期10月～2月)	6	
	パソコン入門	15			
	茶道(前期5月～9月)	8			
	三味線初級	10			
	三味線中級	9			
	文化センター	ハワイアンダンス	36	ストレッチ体操	40
ふっくらパン		27	料理(前期5月～9月)	22	
料理(後期10月～2月)		16	社交ダンス	48	
3B体操		29	気功	25	
さわやか健康体操		34	やさしいエアロ	27	
やさしい基本ストレッチ体操		30			
陶芸		10			
千歳市民 ギャラリー	粘土工芸	13	書道	26	
	書道	29			
	絵画(油絵)	14			
	絵手紙	33			
昼間教室 合計		504	夜間教室 合計		322
総計39教室 826名					

(5) 公民館利用状況(平成 24 年度)

公 民 館			分館 (11 分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	0	0	青少年	43	1,228
社会学級	0	0	社会学級	102	1,617
婦人学級	0	0	婦人学級	2	13
文化関係	1,072	10,558	文化関係	303	7,005
スポーツ	198	7,523	スポーツ	0	0
集会・会議	53	2,344	集会・会議	258	3,008
その他一般	124	4,425	その他一般	81	1,024
計	1,447	24,850	計	789	13,895

3 千歳市民文化センター

(1) 施設の概要

所在地 千歳市北栄2丁目2番11号 電話0123-26-1151

開設 昭和59年4月1日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下2階

敷地面積 16,654.27m²

建築面積 6,870.10m²

面積 13,015.68m²



(内訳)

地階1 74.84m² (電気、機械室)

地階2 1,274.20m² (電気、機械室)

1階 4,260.84m² (リハカ室、プラネタリウム、控室)

2階 2,973.62m² (中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)

3階 2,763.00m² (大ホール、視聴覚室、中会議室)

4階 1,396.26m² (大会議室、展示ホール、小会議室)

塔屋 272.92 m² (電気、機械室)

(2) 沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成10年1月から3月にかけて、大・中ホールの音響、照明設備の改修整備を行っています。

17年4月から1年間をかけてリニューアル工事を行い、18年4月7日より全館供用を再開しました。

施設は、大ホール(客席1,275)、中ホール(客席412)、会議室、視聴覚室、調理教室等研修室、プラネタリウム投影室などを備え、開館以来、舞台公演、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

25年1月から3月にかけて、大ホールは2回目の音響・照明設備の改修整備を行い、舞台演出の技術革新に対応するデジタル化された最新の音響・照明設備を導入しました。

(3) 運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(4) 主催・主管事業(24年度)

自主文化事業(17事業)

事業名	開催日	入場者数	内容
千歳演芸会	7月16日	165	瀧川鯉橋真打昇進特別落語会
ロビーコンサート	7月21日	33	千歳ミュージケットによるジュニアアンサンブルとピアニストの演奏会を実施

早稲田大学グリークラブ千歳コンサート	8月11日	604	早稲田大学生男子合唱団によるコンサートを実施
キラキラコンサート	8月19日	1,040	千歳市内小・中・高校生による合同演奏会を実施
おたのしみ人形劇 「どうぶつのサーカス」など	8月25日	94	おたのしみ劇場「ガウチョス」によるあやつり人形劇を実施
日本映画inちとせ2012	9月17・19日	197	往年の日本映画を低価格で提供・上映
いまいゆうぞう&はいだしょうこ ファンタジーコンサート	11月25日	1,820	NHK歌のおにいさんとおねえさんを務めた「いまいゆうぞう」と「はいだしょうこ」によるコンサートを実施
みのや雅彦ライブ	2月9日	329	羽幌町出身のシンガーソングライター「みのや雅彦」によるアコースティックコンサートを実施
演劇「ぶたぶたとんだ！」	2月10日	107	劇団「風の子」による演劇を幼児から小学校低年向けに上演
夢舞台2013高校演劇 千高&北陽	2月11日	115	地元高校2校による合同演劇発表会を開催
桜庭 和 2013春 花語り歌唄い	3月31日	184	江別市出身のシンガーソングライター桜庭和によるピアノと弦楽四重奏でクラシカルなコンサートを実施

※この外 6事業

文化交流事業 (7事業)

事業名	開催日	入場者数	内 容
作ってみよう！ hasebe流 ぴくるず教室	6月24日	17	野菜ソムリエ長谷部直美さんを講師に迎え野菜のピクルス等の作り方教室を実施
文化祭2012	8月18日 ～19日	665	12種のカルチャー教室の開催とプラネタリウム無料開放等を実施
旬野菜とオリーブオイルのしあわせレシピ	11月18日	20	土上明子さんを講師に迎え、旬野菜とこだわりのオリーブオイルを使った体に優しい料理教室を実施
オーケストラ体験教室	12月22日	16	オーケストラのリハーサルを市民に公開し、楽器の説明などオーケストラを身近に体験する教室を実施
クリスマスファミリーコンサート	12月22日	433	千歳フィルハーモニーオーケストラによるクリスマスコンサートを実施
プラネタリウム体験教室	1月12日	39	プラネタリウムの操作体験と「バンスタ一彗星」の解説を実施
楽しいクレープ作り教室	2月24日	21	「あまい碧ぞら」の店主によるクレープ作り教室を実施

(5) 利用案内

ア 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板（電動）を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。

昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われました。

- イ 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。
- ウ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。
- エ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75名程度の研修が可能。
- オ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。
- カ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。
- キ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

(6) 利用状況(24年度)

施設区分		大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計
利用件数		908	259	2,807	126	4,100
利用 件数 の 内 訳	式典	18	3	37		58
	講演・集会	104	67	332		503
	会議・研修等	114	33	1,350		1,497
	邦楽・邦舞	42	26	128	0	196
	洋楽・洋舞	566	103	351	0	1,020
	演劇	10	3	6	0	19
	映画	0	9	2	0	11
	公民館教室	0	0	311		311
	プラネタリウム				126	126
	展示・その他	54	15	290	0	359
利用人数		70,153	24,686	72,941	1,961	169,741

4 千歳市民ギャラリー

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 電話0123-42-5214
 開設 平成7年4月15日
 建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
 敷地面積 746㎡
 建築面積 587㎡
 延床面積 2,418㎡



(内訳)

地階1 83㎡ (空調・給排水・ボイラー室)
 1階 573㎡ (展示ホール1 : 260㎡等)
 2階 530㎡ (展示ホール2 : 261㎡等)
 3階 594㎡ (研修室1 : 67㎡、研修室2 : 85㎡、
 研修室3 : 180㎡、事務室等)
 4階 594㎡ (市民活動交流センター「ミナクル」、女性団体協議会、文化団体連絡協議会)
 塔屋 44㎡ (エレベーター機械室)

(2) 沿革

平成7年4月、千歳市4期総合計画「人間性と個性を培う『教育文化都市・ちとせ』」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため開館しました。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(3) 運営方針

市民文化センターを補完する施設として、市民の芸術文化の拠点となるよう、美術工芸等の創造活動や発表・鑑賞機会の充実に努めています。

(4) 自主文化事業(24年度) 11事業

事業名	開催日	入場者数	内容
カラーセラピー講座	4月28日	51	心と体の健康に役立てるカラーセラピー講座を開催
志村貞雄油彩展	6月20日～ 6月30日	196	市の収蔵作品20点を展示
ボールペン画の世界	7月21日～ 7月29日	254	市内在住のボールペン画家武内朋之さんの作品の展示及びワークショップの開催
第3回フォトネットソルト写真展	10月23日～ 10月28日	360	市内在住のアマチュア写真家による作品の展示
第6回北海道現代具象展	11月13日～ 11月18日	370	北海道内外の画家の具象絵画を展示

クリスマスリース教室	11月25日	23	クリスマスリース作り教室を開催
手作りしめ縄教室	12月16日	17	しめ縄作り教室を開催
チョーク絵画展	1月10日～ 1月14日	215	市内在住の杉崎さんのチョーク絵画の展示及びチョーク絵画の体験コーナーを開催
収蔵作品展	1月17日～ 1月27日	206	市の収蔵品である油彩画（志村貞雄、菊地又男、関川弘道）を展示
第17回千歳北陽高校 校外展	3月16日～ 3月19日	207	北陽高校の文化系部活動（美術部、書道部、写真部等）の作品を公開
国際身障者絵画展	3月23日～ 3月31日	220	体に障害のある国内外の画家の作品を展示

(5) 利用案内

ア 展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。

イ 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

(6) 利用状況（24年度）

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		215	494	709
利用 件数 の内 訳	研修・講習	23	341	364
	展示	182	1	183
	公民館教室	10	151	161
	その他	0	1	1
利用人数		14,016	5,873	19,889

5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1
千歳市民ギャラリー4階
電話0123-24-0847

開設 平成18年8月1日

施設設備 打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、作業コーナー、情報コーナー、掲示コーナー、図書コーナー、展示コーナー、相談窓口

利用時間 9:00～21:00 (休館日:毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始)

(2) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置されました。



千歳市民活動交流センター
ミナクール

(3) 利用案内

対象:市民活動をしている団体や個人
使用料:無料(印刷機等一部有料)

(4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課

(5) 利用状況(平成24年度)

(単位:人)

総利用者数	利用室別							
	打合せコーナー	交流スペース	談話室兼児童室	図書コーナー	作業コーナー	情報コーナー	展示コーナー	見学相談
10,628	4,964	1,262	1,010	4	1,894	789	282	423

6 千歳市青少年会館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市東雲町1丁目10番地 電話 0123-23-1945
開設 昭和44年12月1日
建築構造 鉄骨造一部2階建
敷地面積 704.60 m²
延床面積 502.87 m²

(内訳)

体育場 235.44m²
研修室(1) 38.43m²
研修室(2) 49.41m²
和室 11.07m²
事務室 27.45m²



千歳市青少年会館

(2) 沿革

昭和44年12月、北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

平成9年6月には、学校適応指導教室「おあしす」が会館内に開設され、不登校児童生徒に対し、教育相談や集団活動における生活習慣や学習等について指導・援助を行うことに利用されています。

18年4月からは、民間業者による経営のノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や施設管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社クリーン開発です。

(3) 利用案内

対象 児童生徒及び学生、勤労青少年
使用料 無料

(4) 利用状況(平成24年度)

(単位：人)

総利用者数	利用者数			室別利用状況			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
10,508	-	6,591	3,917	8,286	2,480	3,807	429

[7]公益財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

設立 昭和57年3月12日

1 目的

青少年の健全育成を図るために必要な事業を行うとともに、水族館施設の管理運営に関する事業を行い、もって千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与すること。

2 主な事業内容

- (1) 青少年及び市民のための教育講座や体験教室の開催
- (2) 青少年団体の育成、助言、研修の実施
- (3) 水族館の設置、企画展示、各種体験等の実施

3 千歳サケのふるさと館

(1)施設の概要

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

開設 平成6年9月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階

敷地面積 2,981.672㎡

建築面積 1,510.580㎡

(内訳)

地階 810.621㎡

1階 1,249.822㎡

2階 847.306㎡

3階 84.488㎡



(2)沿革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる「淡水魚水族館施設」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

(3) 利用案内

支笏湖から流れ出る冷たく清澄な水をたたえた千歳川のほとりに建てられた施設は、サケと北の淡水魚の一大ミュージアムです。

館内にはいろいろな種類のサケやその仲間、イトウ、シロチョウザメなど、大型淡水魚が悠々と泳ぐ巨大水槽をはじめ、サケの生涯や生態が観賞できる大型マルチビジョンなど、様々な施設があり、サケや淡水魚の生態を楽しく学ぶことができます。また、1級河川千歳川に直接設けられた水中観察窓は世界でもまれな施設で、四季の移ろいととも自然の川を往来するいろいろな魚を見ることができます。特に秋は、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

(4) 利用者数

平成24年度 109,415人

(5) 入場料(平成24年度)

	個人	団体(20人以上)	障がい者	サポーター会員 (さーもんずカード)	賛助会員 法人券
大人	800円	640円	400円	1,000円	10,000円
高校生	500円	400円	250円	1,000円	
小学生・中学生	300円	200円	150円	500円	
幼児	無料	無料	無料	—	

※賛助会員法人券及びサポーター会員券(さーもんずカード)は、発行の日から1年間有効とする。

※賛助会員法人券による入館は、1回5名までとする。

(6) 開館

ア 開館期間：1月2日～12月28日

(平成25年度は館内整備のため平成26年2月12日から28日まで休館)

イ 開館時間：9:00～17:00

4 主催事業・主管事業(平成24年度)

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣旨
アクアリウムナイトツアー(キッズ・プチナイト)	8月3～4日 8月7～8日 8月4、5日	千歳サケのふるさと館	小学4～中学生46名 幼児～小学3年生の親子9組26名	夜の水族館を主体として、ふるさと館に宿泊しながら水族館の仕組みや飼育業務を体験する宿泊型体験教室。千歳川での釣り大会、夜の水族館見学、餌やりなどを体験した。
サケふるセミナー	土日祝日、夏・冬休みなど20回	千歳サケのふるさと館	合計265名	サケの排卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラム、大学など外部機関主導による教室を開催。

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣旨
夏休みおさかな写生大会	7月21日 ～ 8月26日	千歳サケの ふるさと館	幼児～小学生 49名	ふるさと館内に展示している生き物の写生大会を実施。1作品が「全道幼児・児童画コンクール」で入賞した。また、9月22日～9月30日までの期間、作品の管内展示を実施した。
水族館の大掃除体験	2月17日	千歳サケの ふるさと館	小学4年～5 年生11名 一般10名	館内の主に大型水槽の亚克力面や壁、床などの掃除や、資格のある参加者には大水槽での潜水清掃など水族館ならではの体験作業を行った。
ジュニア・リーダー 講習会（全4回）	4月21日 ～ 2月24日	千歳市民文化センター、 恵庭市青少年研修 センター	小学5年生～ 中学3年生 97名	子ども会の中心的な役割を果たすリーダーを育成し、地域の子ども会活動の発展を図ることを目的に実施した。
シニア・リーダー 研修会	3月16日 ～ 3月17日	北海道立洞爺少年 自然の家	シニア・リー ダー16名	シニア・リーダーが実施する各種行事や事業について、その企画立案・運営方法などを学び、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える力を養うことを目的に実施した。
自然教室	8月11日 ～ 8月13日	道立足寄少年自然の 家、十勝エコロジー パーク、阿寒湖、足 寄動物化石博物館、 帯広動物園	小学4～中学3 年生44名	集団宿泊生活や野外活動、さらには自然との触れ合いを通して団体生活の規律を身につける。
冬休みなんでも 体験教室	1月9日 ～ 1月11日	国立日高青少年自然 の家、そなえーる、 札幌市青少年科学 館、サンピアサ水族 館	小学4～中学3 年生45名	集団宿泊生活を通して子ども達の自立と精神的成長を促すことを目的に実施し、スキー教室や創作活動、見学授業を通して団体行動の規律や異年齢間の交流も図られた。
体験学習	7月7日 10月13日 3月24日	千歳サケの ふるさと館	小学4年生～ 中学3年生 31名	地域の食物の収穫や調理体験として、ハスカップ摘み&ジャム作りやサケのちゃんちゃん焼き、そば打ち体験を行った。
販売体験学習	9月16日	千歳サケの ふるさと館	小学4年生～ 中学3年生 16名	労働への意欲やお金の大切さを学ぶことを目的に、企画、製作を行い、館内でサケふるオリジナルグッズを販売した。
緑の村キャンプ大会	7月21～ 22日 7月27～29 日	青葉公園ピクニック 広場	地域子ども会 会員とその父 母及び小学4 年生～中学3 年生174名	仲間との宿泊生活、野外活動自然の探求を通して、協力し助け合い励まし合う仲間づくり、自然を愛する豊かな心の形成、他の地域の子ども会との交流を目的として実施した。
ちとせの子ども クリスマスの集い	12月2日	高台小学校	小中学生 65名	シニア・リーダーつばさを中心となり、学校や学年の異なる子ども達が、クリスマスの集いを通して相互の親睦を深めることを目的に実施した。
ちとせっ子雪あそび	2月3日	サーモンパーク内 イベント広場	小中学生 106名	冬期間の子どもの健康増進と交流を図ることを目的に雪中運動会やチュープリレーなどを実施した。
ハロウィンパーティー	10月28日	千歳サケの ふるさと館	幼児～大人延 べ74名	サーモンパーク内を仮装した子どもたちとパレードし、館内ではクイズラリーとジャックオランタン作りが行われ、ハロウィンにちなんだ1日を過ごした。
水族館クリスマス イベント	12月22日 ～ 12月25日	千歳サケの ふるさと館	幼児～大人 延べ348名	来館者を対象に餌やり体験、大水槽に潜水したサンタダイバーとの記念撮影、クリスマス仮装パーティーなどのクリスマスイベントを実施した。
サケツアー in 帯広	10月6日	帯広方面	51名	市内旅行会社と提携し、当館学芸員が添乗員として同行して、サケに関わる箇所をまわるツアーを実施した。
飼育係ちよこっと体験	4月～3月 (24日間)	千歳サケの ふるさと館	延べ199名	毎月第二・第四土曜日を中心にエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館飼育業務に関する体験を行った。

Ⅶ 社会体育

体育・スポーツは、本来、市民が自分のために自主的にその適性或健康状態に応じて行い楽しむものです。

近年、余暇の増大、生活環境の中で運動不足、都市化によるコミュニケーションの欠如などにより、あらためてスポーツのもつ重要性が認識されつつあります。

本市ではこうした状況から、「スポーツ都市宣言」をスローガンに、スポーツを愛しスポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、だれでも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめるよう、「体育施設の充実・整備」、「だれでも参加できるスポーツ行事」、「地域スポーツグループの育成援助」、「指導者の育成」等を行い、日常生活の中に体育・スポーツが定着し、これを楽しむことができるよう諸条件の整備に取り組み、さらには多様化する活動に対応した生涯スポーツの推進に努めています。

スポーツ都市宣言(昭和45年6月29日)

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- 4 スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

千歳市社会体育基本目標

「広げよう！ ふれあいの輪を」
たくましい心身を育むスポーツ、レクリエーションの推進

(社会体育具現目標)

- 1 スポーツを楽しみ進んでレクリエーションに参加する市民
- 2 自然に親しみ寒さに負けない体力づくりに励む市民
- 3 スポーツをとおして約束ごとを守る市民
- 4 スポーツをとおして友情を育むところ豊かな市民
- 5 家庭ぐるみでスポーツやレクリエーションを楽しみ明るい地域づくりのできる市民

[1]社会体育事業(平成 24 年度)

事業名	開催月日	会場	対象	趣 旨
シニア卓球教室	4月	スポーツセンター	60歳以上 初心者 231名	卓球の初歩的技術を身につけ、ラリーが続くことで楽しいと感じてもらい、教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し、心身の健康を維持したり、また、卓球の普及拡大を図る。
トランポリン教室 (5・6年生コース)	4月～5月	スポーツセンター	小学 5・6年生 255名	トランポリンは、人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 (4年生コース)	6月～7月	スポーツセンター	小学4年生 210名	
トランポリン教室 (3年生コース)	8月～9月	スポーツセンター	小学3年生 250名	
トランポリン教室 (2年生コース)	10月	スポーツセンター	小学2年生 237名	
トランポリン教室 (1年生コース)	11月～12月	スポーツセンター	小学1年生 202名	
弓道教室	6月～7月	武道館	高校生以上 171名	
ジュニア卓球教室	7月	スポーツセンター	中学生以上 225名	卓球の初歩的技術を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
ちびっこわくわく教室 (4歳児)	7月～8月	スポーツセンター	4歳児 163名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ
テニス教室	11～12月	スポーツセンター	社会人 146名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る
スケート教室	1月	青空公園 スケートリンク	小学1年生 207名	スケートの履き方、取扱いからはじまり基礎的な技術を習得し、冬期間の運動の楽しさを学ぶ
ちびっこどきどき教室 (5才児)	3月	スポーツセンター	5歳児 168名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ

(主催：公益財団法人千歳市体育協会)

[2]学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月 開放時間 平日 17:00～21:00
土・日・祝日・学校の休業日 9:00～21:00

(3)開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

2 グラウンド

(1)使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに教育委員会スポーツ課スポーツ施設係まで申し込む。（受付：土・日・祝日を除く、9:00～17:00）

(2)開放期間・時間

開放期間 5月～10月 開放時間 平日 5:00～7:00 17:00～19:00
土・日・祝日・学校の休業日 5:00～19:00

(3)開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

3 武道場

(1)使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2)開放期間・時間

開放期間 4月～3月 開放時間 平日 19:00～21:00

(3)開放学校

勇舞中学校

4 利用状況

(1)利用人数

年度	体育館	グラウンド	計
22	121,140人	57,246人	178,386人
23	119,151人	56,110人	175,261人
24	112,483人	52,685人	165,168人

(2)種目別利用状況(平成24年度)

体育館種目別利用状況

種目	利用状況	種目	利用状況
バスケットボール	25.5%	ミニバレーボール	8.0%
フットサル	24.5%	バレーボール	8.0%
野球	7.2%	空手	4.0%
バドミントン	9.6%	その他	13.2%

グラウンド種目別利用状況

種目	利用状況
野球	70.3%
サッカー	29.7%

(3)開放校及び開放期間

	体育館	グラウンド	武道場
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小 北進小中・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	(通年) 勇舞中

[3]社会体育施設

1 千歳市温水プール

(1)施設の概要

所在地 千歳市流通3丁目1番9号 電話0123-49 - 7001

開設 平成10年7月20日

建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地上2階地下1階

敷地面積 7,712.63 m²

延床面積 3,643.751m²

1階 2,766.254m²

2階 572.920m²

地階1 304.577m²

1階 プール、更衣室、待合ロビー、
観覧ロビー、会議室

2階 ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室

地階1 濾過機械室、機械監視室

(施設設備)

プール室 競泳プール(財団法人日本水泳連盟公認25m、8コース)、流水
プール(周回距離44.9m)、幼児・低学年プール

ウォータースライダー(滑走路全長101.04m)

ジャグジー(2基)、寝湯(3人用)、採暖室、観覧席(119席)

ロッカー室: ロッカー数550(男264人分、女270人分、多目的16人分)



(2)沿革

新千歳空港24時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て平成10年7月20日から供用開始しました。

施設は、財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

平成21年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社苫小牧スコールです。

(3)運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 10:00~21:00

イ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、整備期間(2月)

ウ 利用状況(平成24年度)

区分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	2,834
	小・中学生	19,325
	高校生	524
	一般	16,957
	65歳以上	6,855
	障がい者	6,779
	小計	53,274

区分		延利用者数(人)
講習会	未就学児	6,079
	小・中学生	12,334
	一般	3,660
	小計	22,073
その他の事業		562
専用利用		1,209
小計		1,771

合計 77,118人

2 千歳市スポーツセンター

(1)施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の2 電話0123-22 - 1111
 開設 昭和53年7月1日
 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階
 敷地面積 20,699.99㎡
 建築面積 3,371.57㎡
 延床面積 1階 3,169.83㎡
 中2階 237.84㎡
 2階 1,667.34㎡
 合計 5,075.01㎡



《主要施設》

収容人員 2階固定席 890席、1階移動席 1,500席、立見席 500席
 ◎アリーナ 1,680㎡(42m×40m) 【バスケットボール(2面) バレーボール(3面) バドミントン(8面) テニス(2面) 卓球(35台) 体力テスト
 ◎第2体育館 432㎡(16m×27m) 【バレーボール(1面) バドミントン(3面) 卓球(6台)
 ◎トレーニング室 149.39㎡ 【ランニングマシン他20種29台】
 ◎幼児室 91.65㎡

(2)沿革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年・市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。

なお、平成25年4月から1年間休館してリニューアルを行い、26年4月に全館供用を再開する予定です。

(3)運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00
 イ 休館日毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終金曜日の午前、年末年始
 ウ 利用状況（平成24年度）

区分			延利用者数(人)	
個人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	8,585
			一般	13,813
		定期券	小中高	30
			一般	1,405
		小計	23,833	
	トレーニング	当日券	3,749	
		定期券	2,562	
		小計	6,311	
	その他	3,113		
	小計	33,257		

区分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	77,509
	その他	6,074
	会議	7,736
	小計	91,319

合計 124,576人

3 千歳市開基記念総合武道館

(1)施設の概要

所在地 千歳市あずさ1丁目3番1号 電話0123-22 - 2100
 開設 平成5年6月1日
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階
 敷地面積 28,037.47 m²
 建築面積 6,567.23 m²
 延床面積 7,298.64 m²



《主要室》

アリーナ 1,553m²
 剣道6面、柔道4面(公式)
 バレーボール3面(6人制)
 バドミントン10面
 剣道場 450m² 剣道2面
 柔道場 450m² 柔道2面
 弓道場 463m² 近的28m²×6人立
 トレーニング室 179m² ランニングマシン他14種38台
 会議室 114.3m²
 観覧席 279m² 固定席約500席

(2)沿革

千歳市開基記念事業として、この総合武道館の建設が決定された。

平成5年3月17日に完成し、同年6月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。

(2)運営方針

利用者が武道に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できるような施設運営に努めています。

(4)利用案内、利用状況

ア 開館時間 午前9:00～12:00 午後13:00～17:00 夜間18:00～21:00

イ 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終金曜日の午前、年末年始

ウ 利用状況(平成24年度)

区分			延利用者数(人)	
個人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	12,350
			一般	14,526
		定期券	小中高	8,628
			一般	10,822
	小計			46,326
	トレーニング	当日券	5,119	
		定期券	7,177	
小計		12,296		
その他			975	
小計			59,597	

区分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	61,768
	会議	3,699
	小計	65,467

合計 125,064人

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年 9:00～21:00 休館:月の第2,4月曜、月の最終金曜午前、年末年始	鉄骨造平屋建 1,014㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野 球	千歳市民球場	泉沢868番地の22 (青葉公園内)	4月～10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1 (青葉公園内)		面積21,000㎡、両翼94.4m、センター111.369m、本塁～バックネット周20m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡ 両翼70m、センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフト ボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
ラグビー・ サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000㎡、
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000㎡
庭 球	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543㎡、人工芝、硬式7面、軟式5面
	上長都公園庭球場	上長都1051番地の19		面積1,404㎡、全天候型2面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくぶ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積300㎡、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積300㎡、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町 176 番地の 3	6 月下旬～ 9 月上旬 10:00～17:00	コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×10.7m、5 コース深度 1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄 1 丁目 10 番 3 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出 2 丁目 3 番 6 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース 深度 1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘 2 丁目 6 番 3 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘 824 番地の 30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3 コース、深度 0.9m～1.1m
	長都水泳プール	長都 42 番地の 1		ステンレス DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	北斗水泳プール	北斗 5 丁目 1 番 1 号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草 5 丁目 3 番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃 2 丁目 34 番 12 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里 945 番地		FRP(上屋付) 25m×7.82m、3 コース深度 1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽 3 丁目 9 番 1 号		FRP(上屋付) 25m×10.2m、4 コース深度 1.1m～1.4m
スケート	青空公園スケート場	あずさ 1 丁目 1096 番地	12 月～2 月 9:00～20:00	面積 8,628 m ² 、1 周 400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケート場	日の出小学校	1 月～2 月 8:30～16:00	1 周約 200m
	祝梅スケート場	祝梅小学校		
	高台スケート場	高台小学校		
	向陽台スケート場	向陽台小学校		
	信濃スケート場	信濃小学校		
	桜木スケート場	桜木小学校		
	北栄スケート場	北栄小学校		
	千歳スケート場	千歳小学校		
	緑スケート場	緑小学校		
	北陽スケート場	北陽小学校		
	千歳第二スケート場	千歳第二小学校		
泉沢スケート場	泉沢小学校	1 周約 140m		
支笏湖スケート場	支笏湖小学校			
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢 1017 番地の 7	12 月～3 月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積 52,000 m ² 、管理棟 175 m ² 、標高差 48m、最大斜度 27 度、降滑長 250m キャリーエース 1 基
	歩くスキーコース	青葉公園	12 月～3 月	歩くスキークラシカルコース 3.2km、フリースタイルコース 7.2km、冬期間のウォーキングコース 3.2km

Ⅷ 教育委員会議の開催状況

平成24年における教育委員会会議の開催状況

回数	開催日	議 題
1	平成24年1月24日	勇舞中学校開校事業の進捗状況について ほか
2	平成24年2月23日	千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について ほか
3	平成24年3月14日	千歳市スポーツ推進委員の委嘱について ほか
4	平成24年3月22日	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について ほか
5	平成24年4月26日	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱及び任命について ほか
6	平成24年5月29日	千歳市議会第2回定例会教育行政報告について ほか
7	平成24年6月26日	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について ほか
8	平成24年8月3日	第18回千歳市・指宿市青少年相互交流事業の実施について ほか
9	平成24年9月12日	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について ほか
10	平成24年9月24日	教育委員会職員の任免について ほか
11	平成24年10月1日	教育長の任命について ほか
12	平成24年10月30日	教育委員会職員の異動について ほか
13	平成24年11月29日	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について ほか
14	平成24年12月25日	平成25年成人式「はたちのつどい」の実施について ほか

千歳市の教育

(平成 25 年度)

平成 25 年 10 月発行

発行・編集 千歳市教育委員会
